

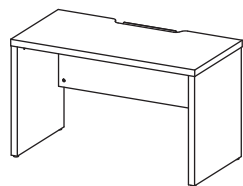
ソリッド フリーアドレス用ハーフデスク 組立説明書

RFTFH-1060 (1070,1260,1270,1460,1470) WH(OA)-T, RFTFH-(W)10 (12,14,1060,1070,1270,1460) (AD) WH(BK)-CB, RFTFH-D60 (70) WH(BK)-L (ML)

- 組立説明書は(1)～(3)の3種類ございます。下記をご参照頂き、適合する番号の組立説明書をご覧ください。
- 本説明書は天板幅 1000 mm・1200 mm・1400 mmで共通の内容となっています。

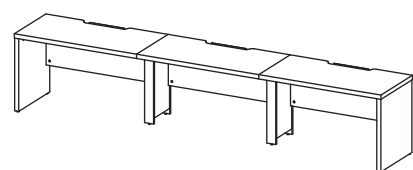
3 ページへお進みください。

(1) 基本
幅 1000 (1200・1400) mm の場合



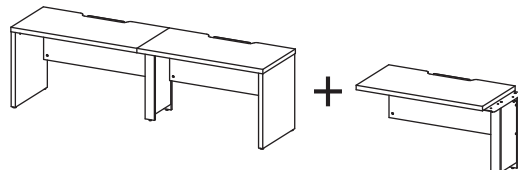
5 ページへお進みください。

(2) 増連
幅 2000 (2400・2800) mm 以上に組み立てる場合



11 ページへお進みください。

(3) 後日増連
後日 (1) 又は (2) に増連する場合

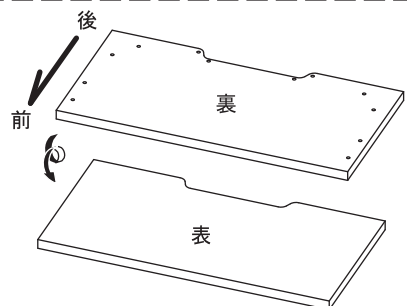


基本部材

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

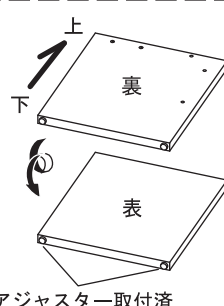
梱包 1 RFTFH-1060 (1070,1260,1270,1460,1470) WH(OA)-T

①共通天板 × 1

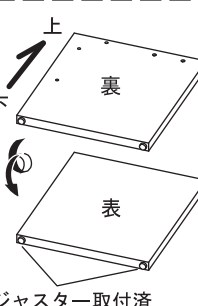


梱包 2 RFTFH-D60 (70) WH(BK)-L

②左脚部 × 1

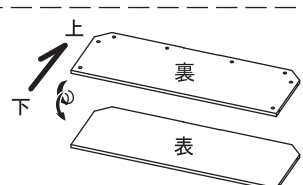


③右脚部 × 1

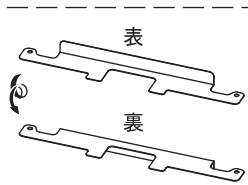


梱包 3 RFTFH-W10 (12,14) WH(BK)-CB

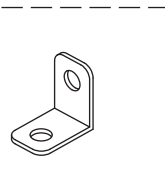
④幕板 × 1



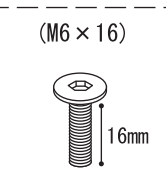
⑤配線受け × 1



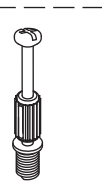
⑥L字金具 × 2



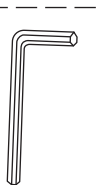
⑦六角穴付き平ねじ × 6



⑧H41ジョイントシャフト × 12



⑨六角レンチ × 1

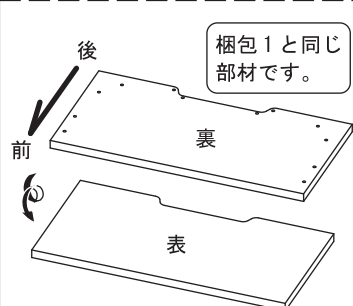


増連部材 (1台分)

幅 1000・1200・1400 mmを追加する毎に増連部材が必要となります。

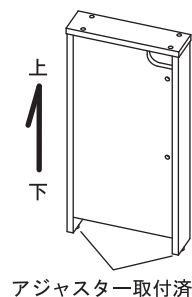
梱包 4 RFTFH-1060 (1070,1260,1270,1460,1470) WH(OA)-T

①共通天板 × 1



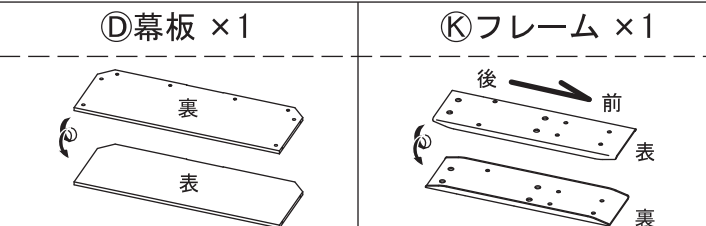
梱包 5 RFTFH-D60 (70) WH(BK)-ML

②中間脚 × 1

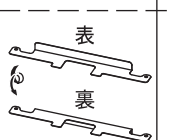


梱包 6 RFTFH-W12 (14,1060,1070,1270,1460) ADWH(BK)-CB

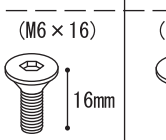
③フレーム × 1



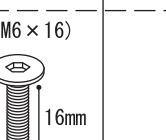
④配線受け × 1



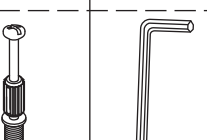
⑤六角穴付き皿ねじ × 4



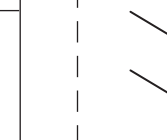
⑥六角穴付き平ねじ × 8



⑦H41ジョイントシャフト × 8



⑧六角レンチ × 1



重要

ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

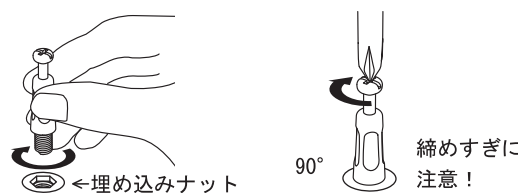
1. ジョイントシャフトの取り付け

※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

ジョイントシャフト

※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。

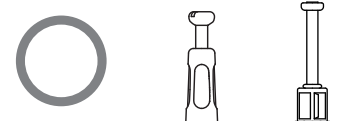
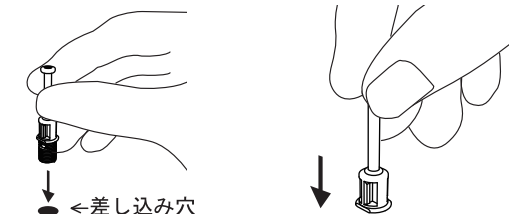
ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



差込ジョイントシャフト

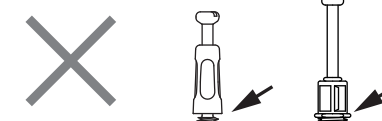


ジョイントシャフトを指定の板面穴に差し込みます。隙間が無いように最後まで差し込んでください。



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない

抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ

ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

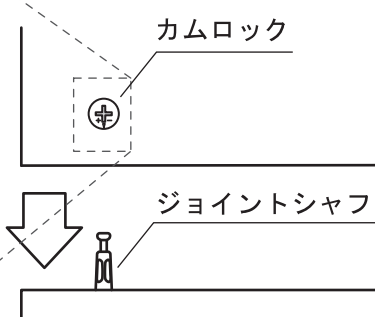
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには＋又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



適切な差し込み

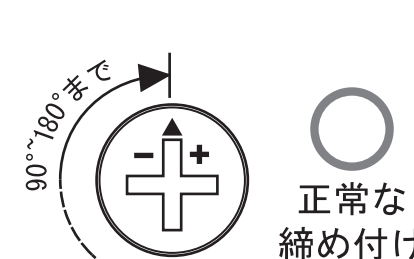
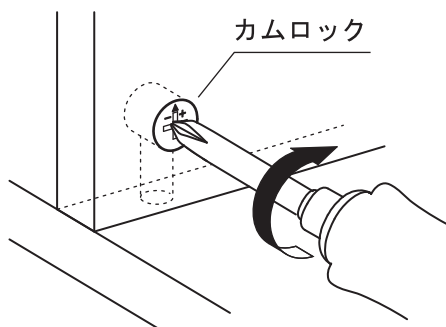


隙間が空いている

正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



正常な締め付け



締めすぎ

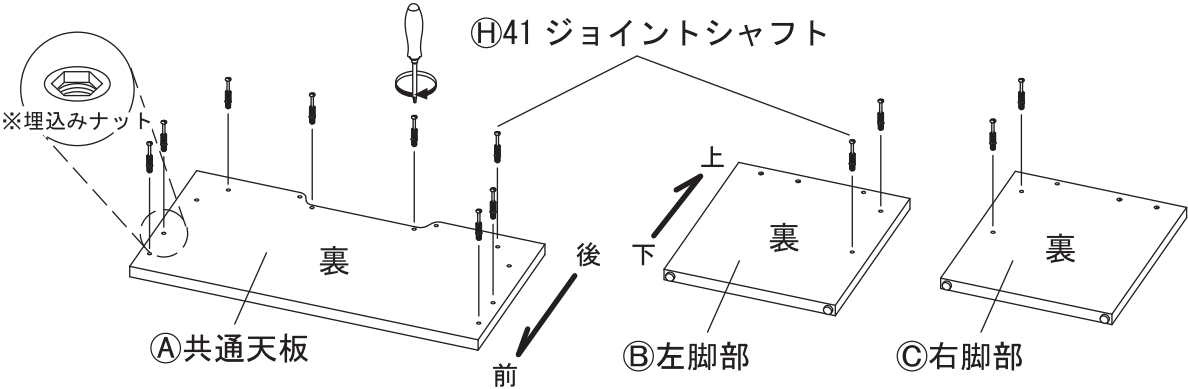
無理に回すと破損の原因となります

(1) 基本 幅 1000 (1200・1400)mm の場合

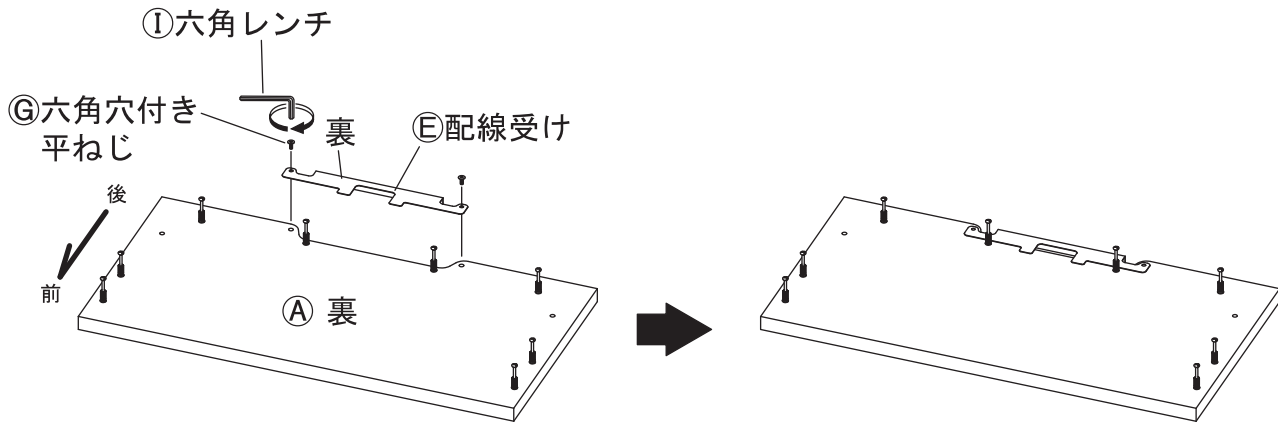
組立の目安
15分

- ▲組立てにはプラスドライバーが必要です。
- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

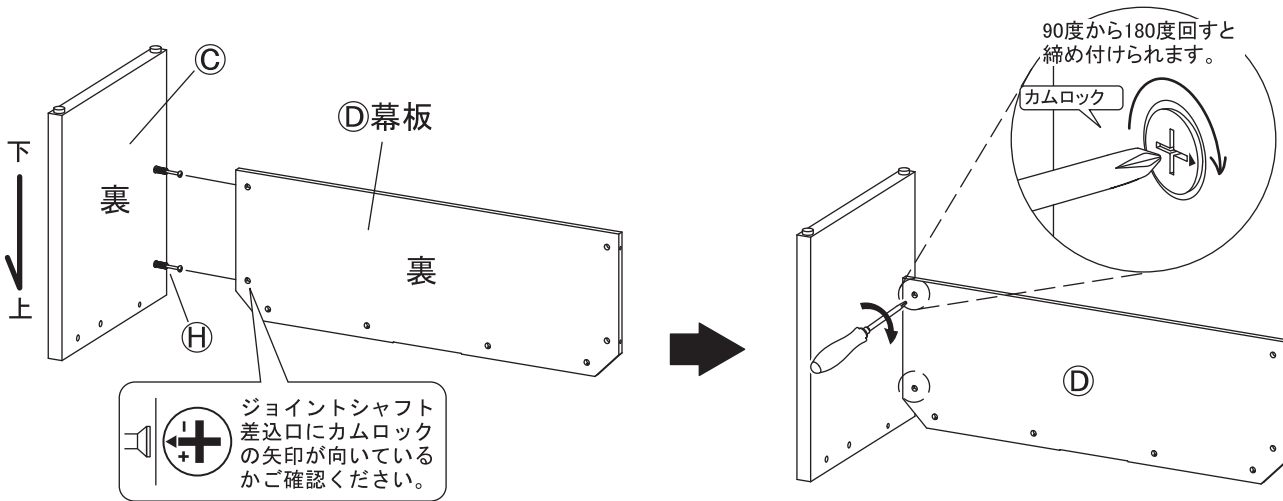
1 ④共通天板・⑥左脚部・⑦右脚部に⑧H41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



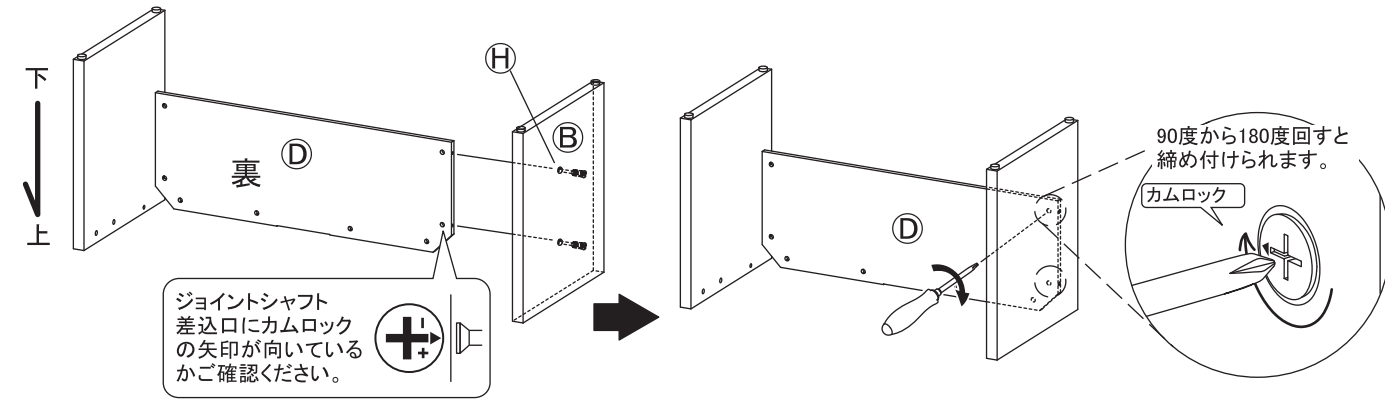
2 ④共通天板に⑤配線受けを取り付けます。
⑤配線受けを④共通天板に乗せ、①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



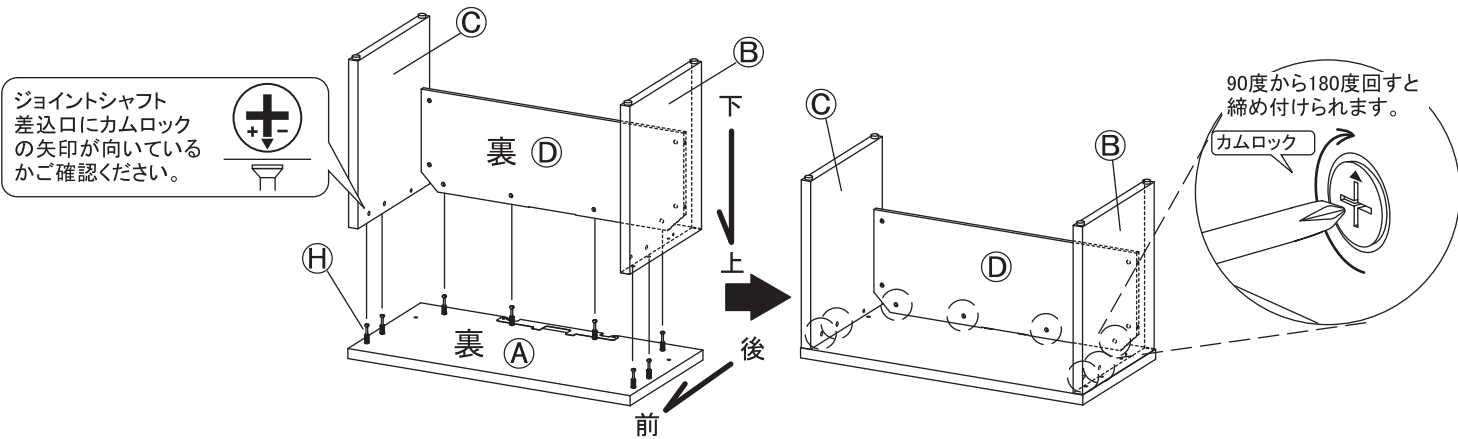
3 ①幕板の横穴に、1で組み付けた⑦右脚部の⑧H41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、①幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



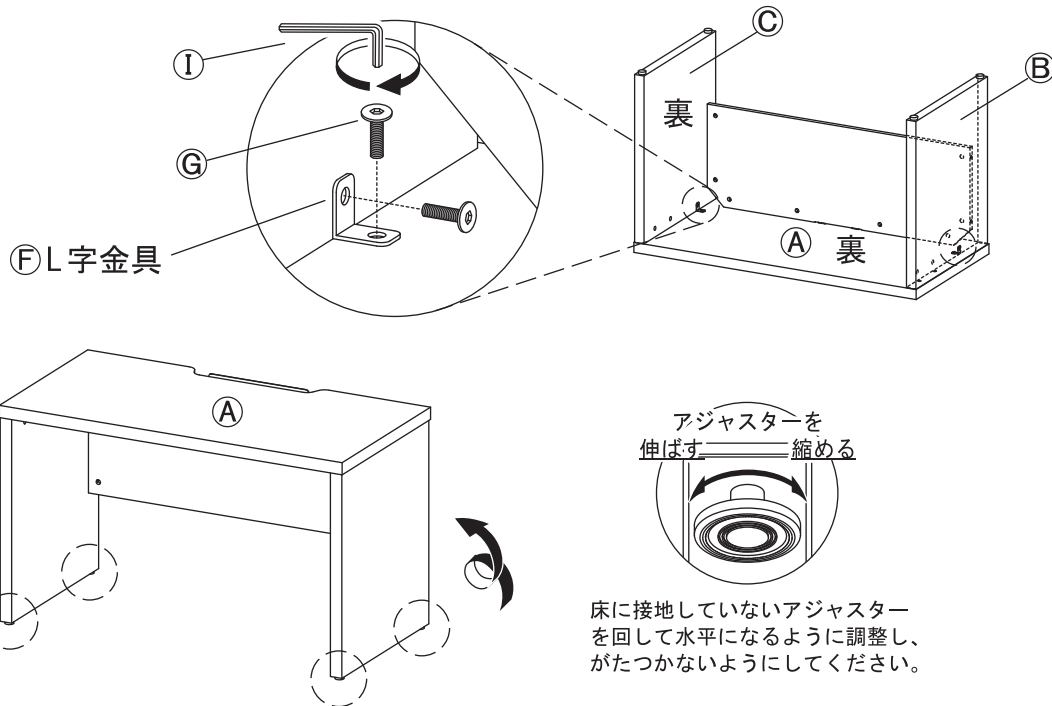
4 反対側の①幕板の横穴に、1で組み付けた⑥左脚部の⑧H41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、①幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



5 4で組み立てた本体と④共通天板を組み立てます。①幕板・⑥左脚部・⑦右脚部を二人以上で慎重に持ち上げ、横穴に④共通天板の⑧H41 ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、①幕板・⑥左脚部・⑦右脚部のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



6 ④共通天板・⑥左脚部・⑦右脚部に、⑨L字金具を取り付けます。
①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。
その後、本体を二人以上で慎重に起こし、④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



(2) 増連 幅 2000 (2400・2800)mm 以上に組み立てる場合

組立の目安
30分～

基本部材 と 増連部材 (必要台数分) を使用します。

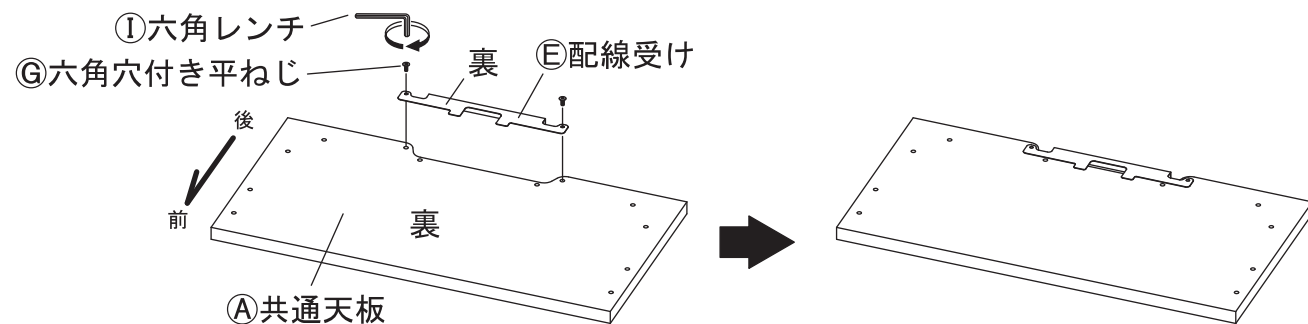


組立前の注意

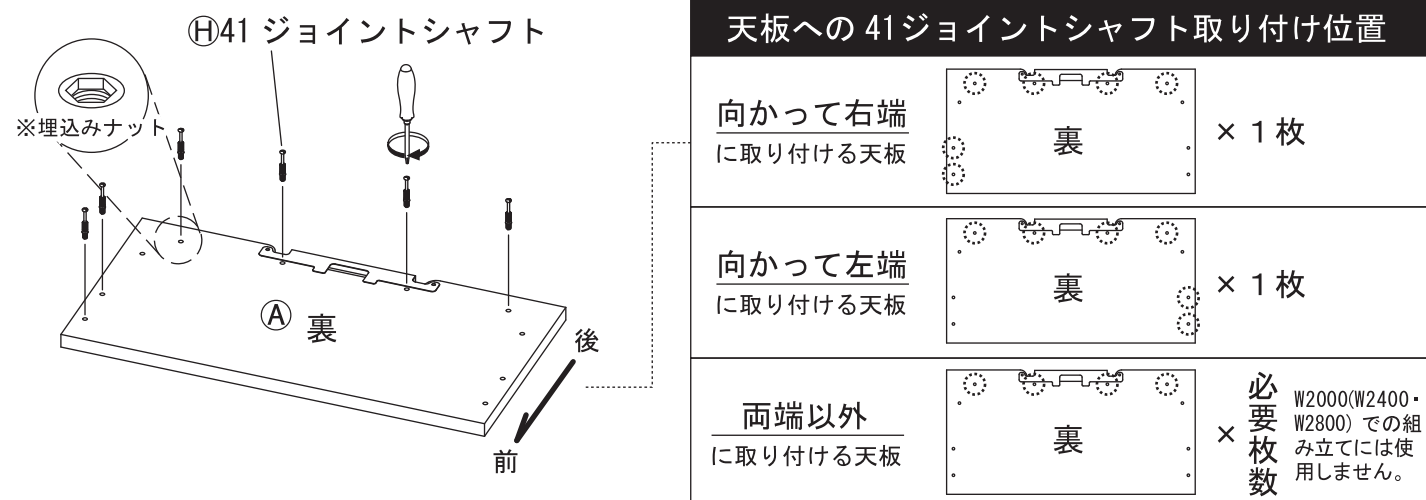
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲組立てにはプラスドライバーが必要です。
- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

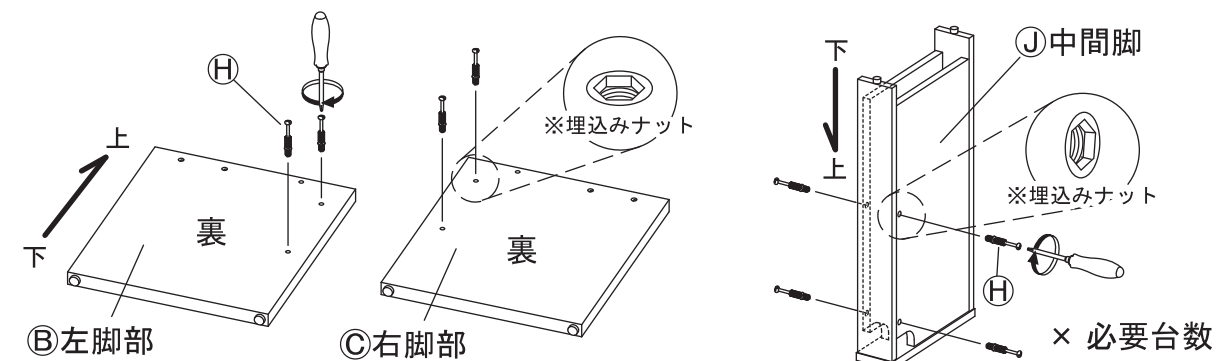
- 1 ④共通天板に⑤配線受けを取り付けます。
⑤配線受けを④共通天板に乗せ、①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



- 2 ④共通天板に⑨41ジョイントシャフトを回し入れてください。天板により、⑨41ジョイントシャフトの取り付け位置が異なります。下記の「天板への41ジョイントシャフト取り付け位置」をご確認ください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

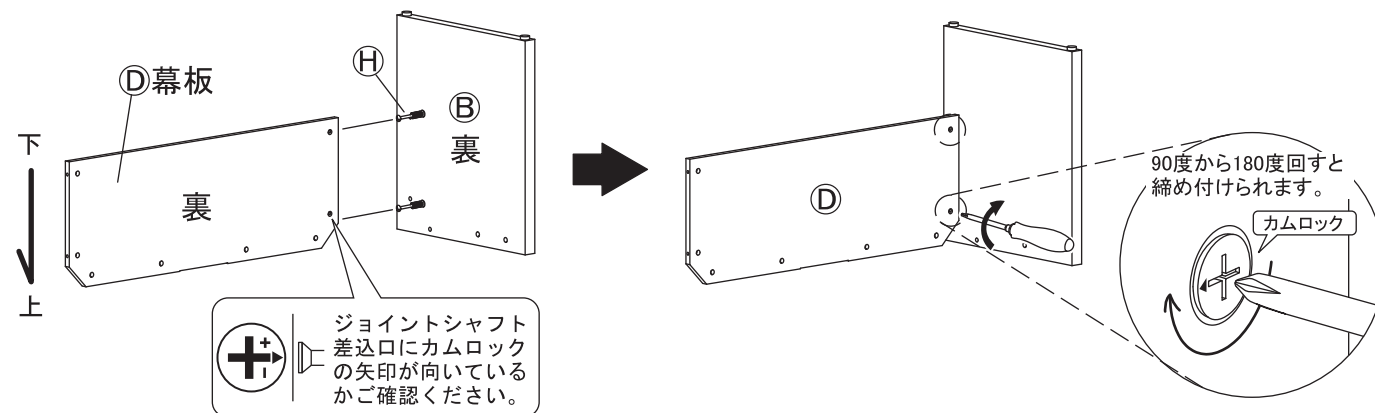


- 3 ⑧左脚部・⑨右脚部・⑩中間脚に⑨41ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



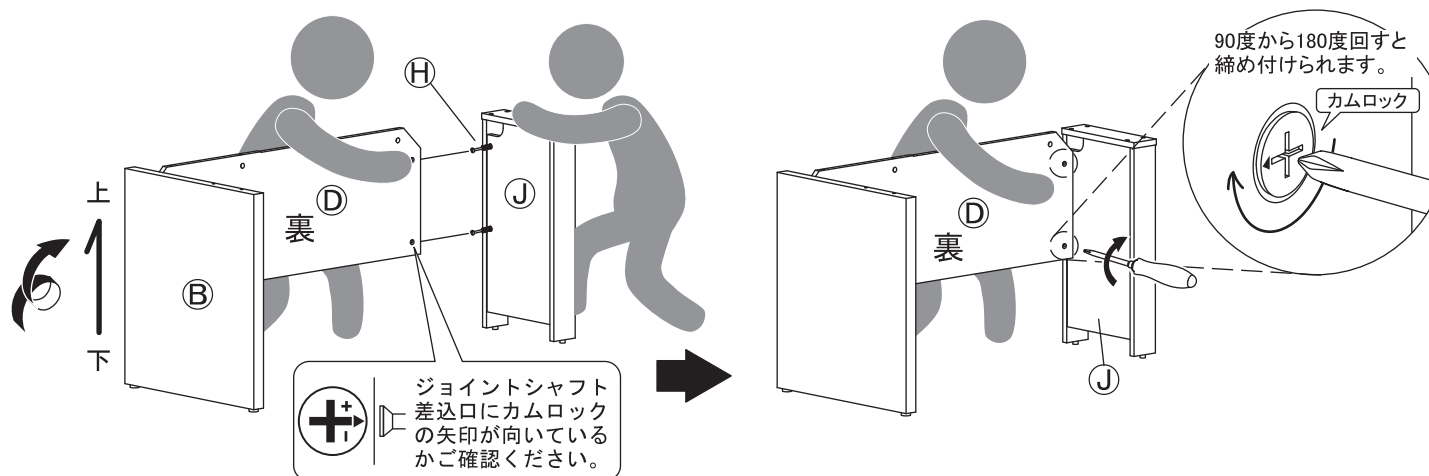
4

- ⑩幕板の横穴に、③で組み付けた⑧左脚部の⑨41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



5

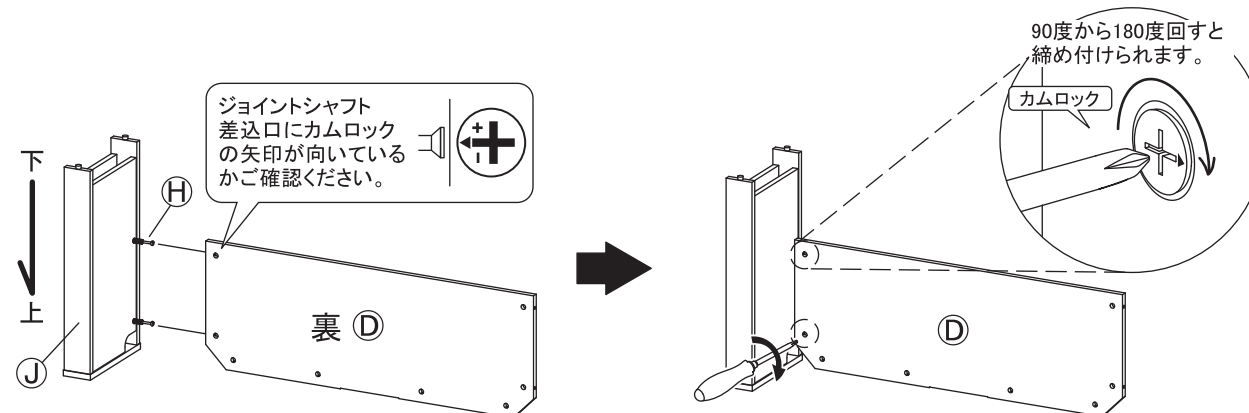
- ④で組み立てた⑧左脚部・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、③で組み立てた⑩中間脚の⑨41ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行なってください。



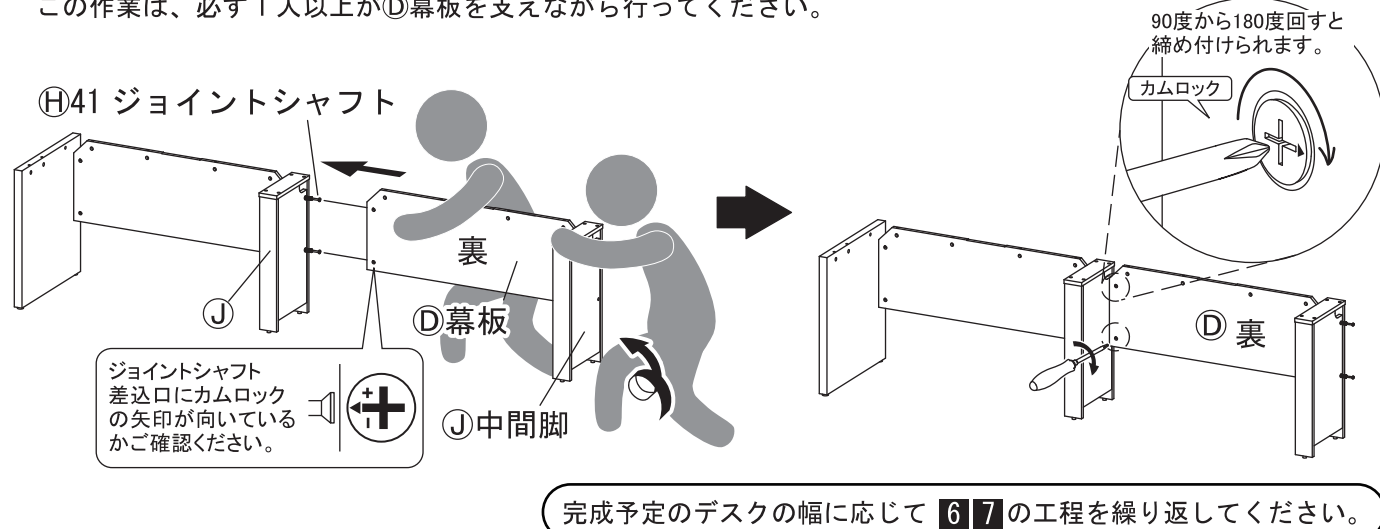
6

- ③で組み付けた⑤とは別の⑩中間脚と⑩幕板を用意します。
⑩中間脚の⑨41ジョイントシャフトを⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

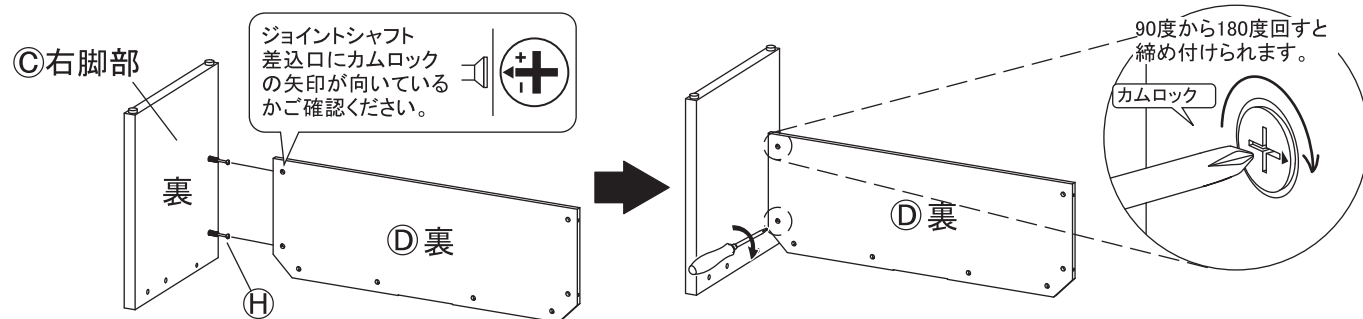
※W2000 (W2400・W2800) のサイズで組み立てる場合はこの工程 (6・7) は不要です。8 の工程へお進みください。



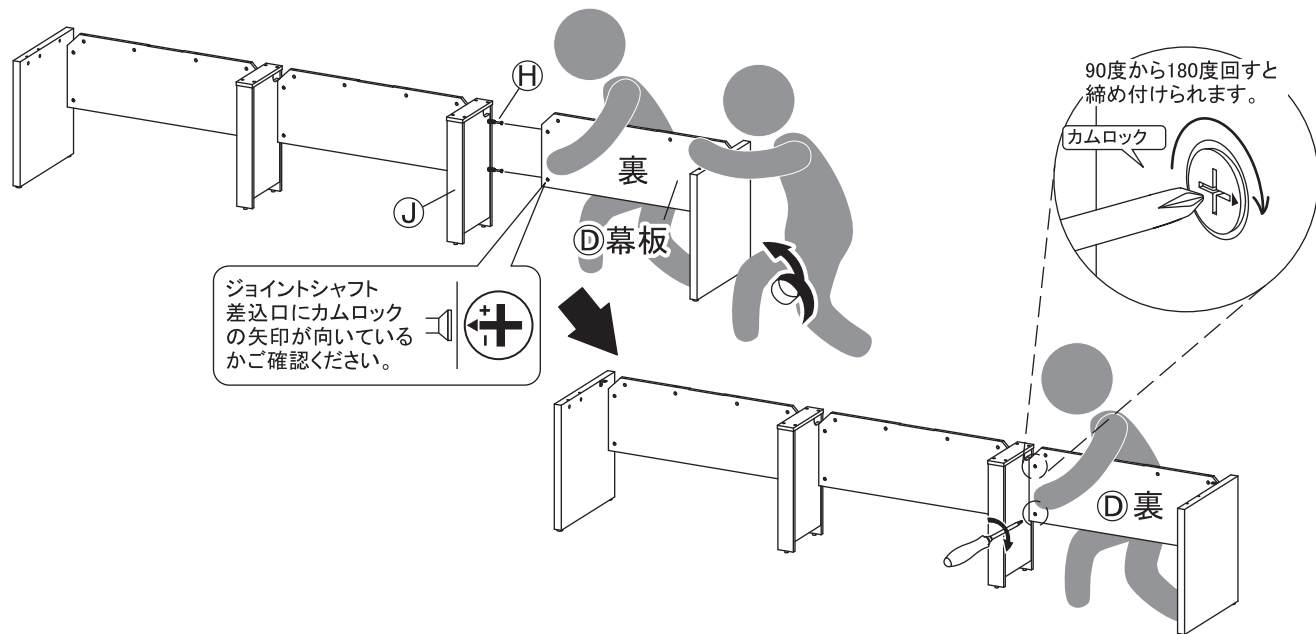
6で組み立てた④中間脚・⑤幕板を二人以上で慎重に起こし、5で組み立てた④中間脚のH41ジョイントシャフトを、⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が⑤幕板を支えながら行ってください。



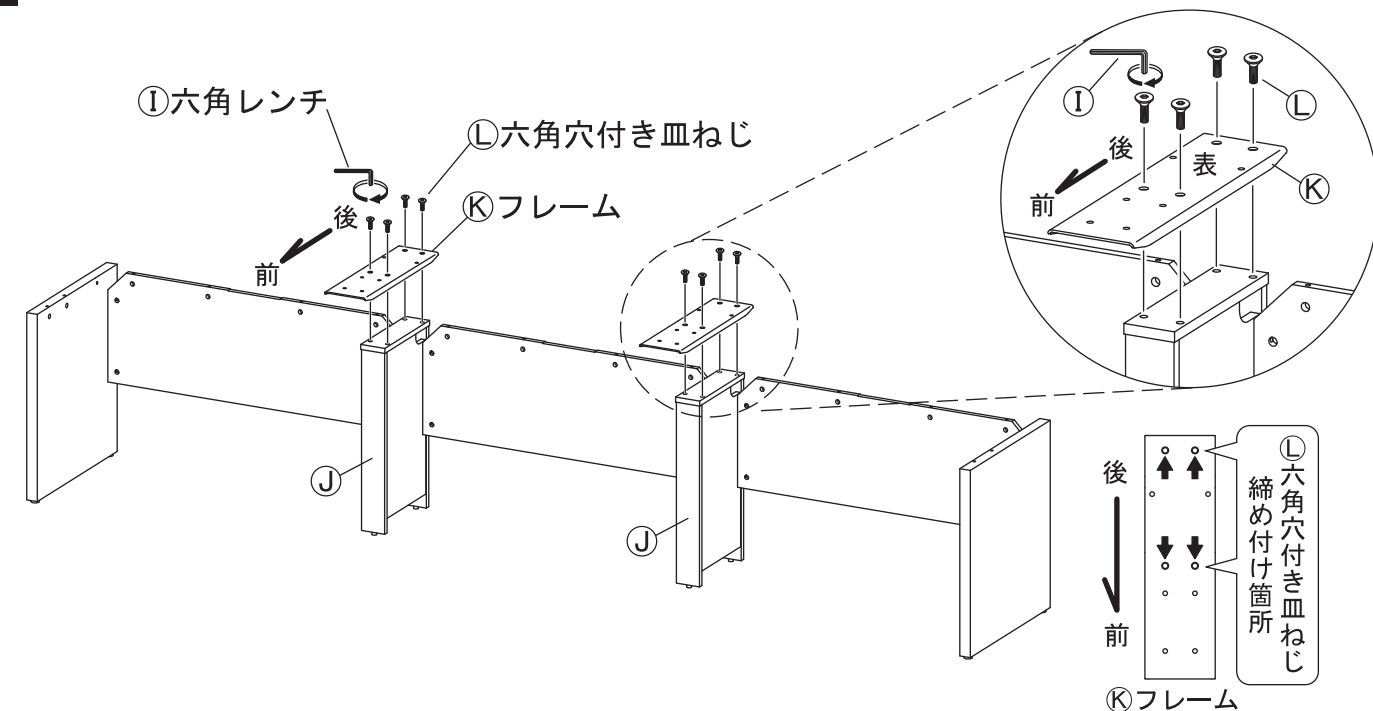
⑤幕板の横穴に、3で組み付けた③右脚部のH41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



8で組み立てた③右脚部・⑤幕板を二人以上で慎重に起こし、④中間脚のH41ジョイントシャフトを⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が⑤幕板を支えながら行ってください。



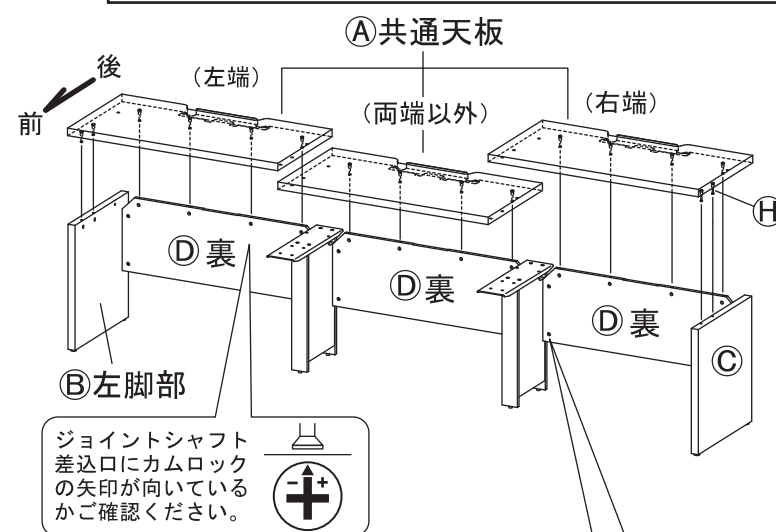
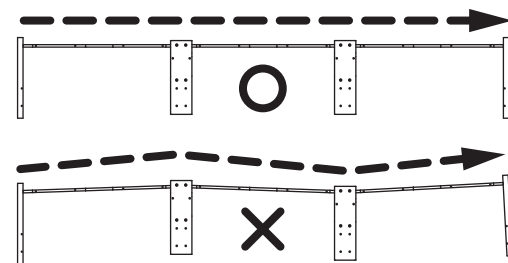
④中間脚の上に⑧フレームを二人以上で慎重に乗せ、①六角レンチを使って②六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



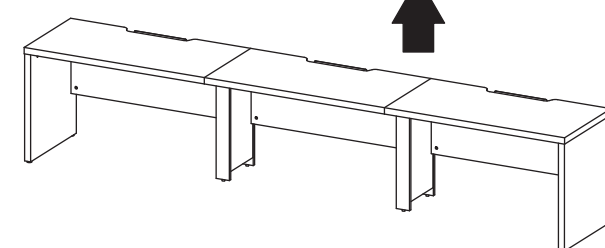
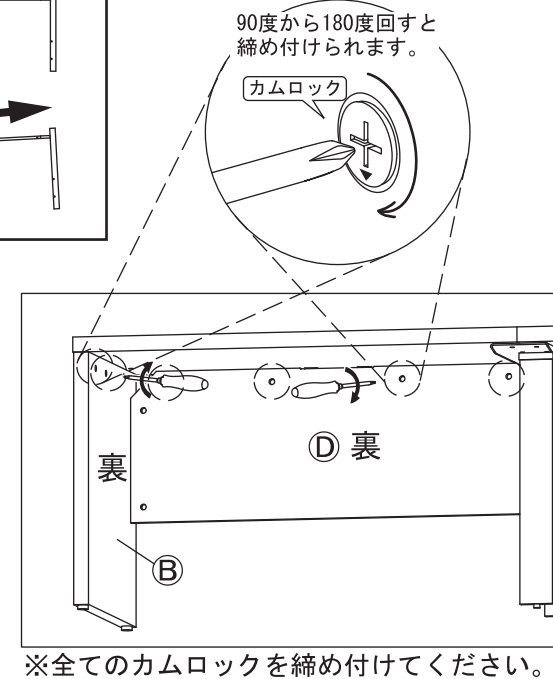
10で組み付けた製品がまっすぐ組み付けられている事を確認してください。その後、⑨共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けたH41ジョイントシャフトを③左脚部・③右脚部・⑤幕板の横穴に差し込んでください。その後、③左脚部・③右脚部・⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

上から見た図

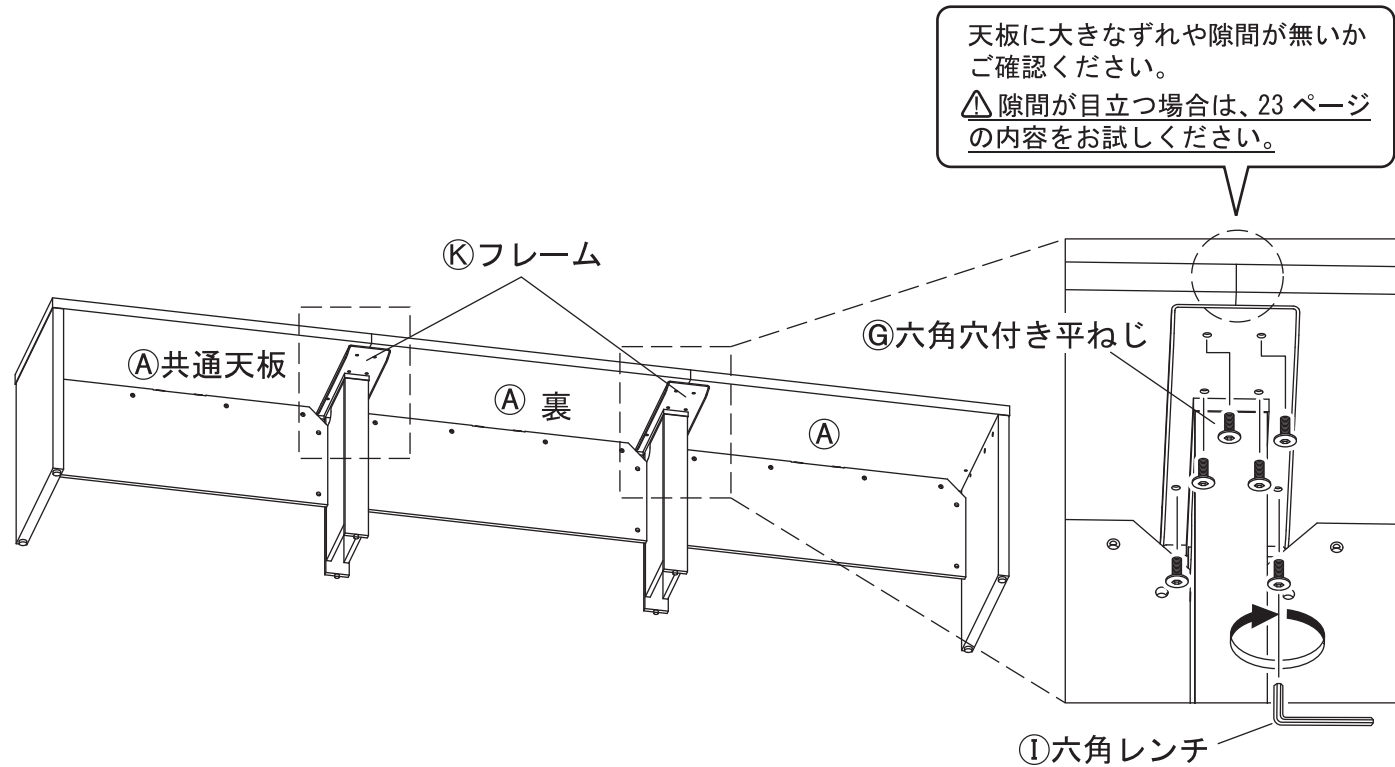
⚠
 事前に製品がまっすぐ
 組み付けられていない
 と天板が取り付けづら
 い場合があります。



※天板同士が引っ掛かって⑨共通天板を取り付けづらい場合は、⑤幕板の左右のカムロックを一度緩めることで取り付けやすくなる場合があります。(緩める際はパーツ同士が外れないようにご注意ください。)作業後は緩めたカムロックを忘れずに締め付けてください。



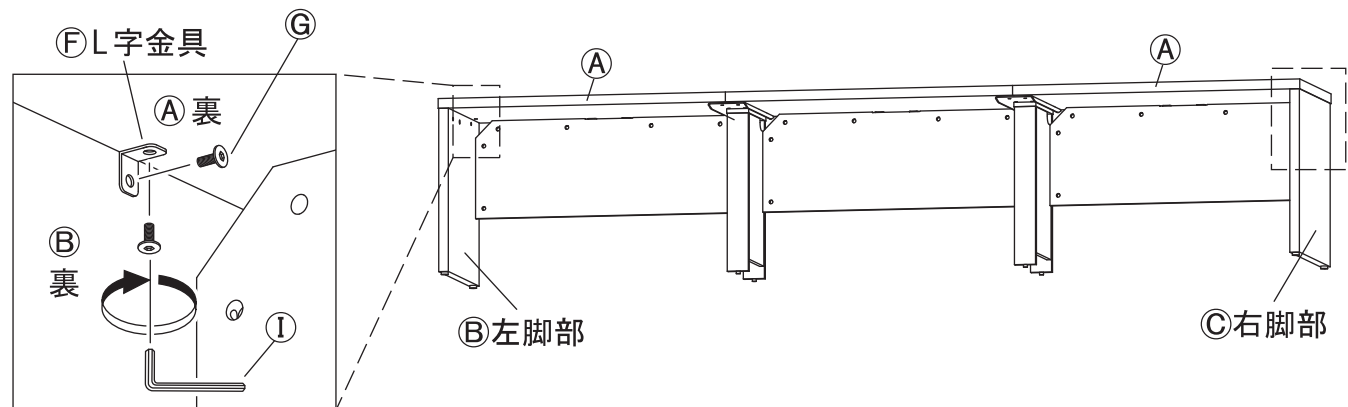
- 12 ④共通天板と⑧フレームを固定します。
④共通天板の裏側から、①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを締め付けてください。



⚠ 部材を落としてケガをしないよう
十分注意してください。

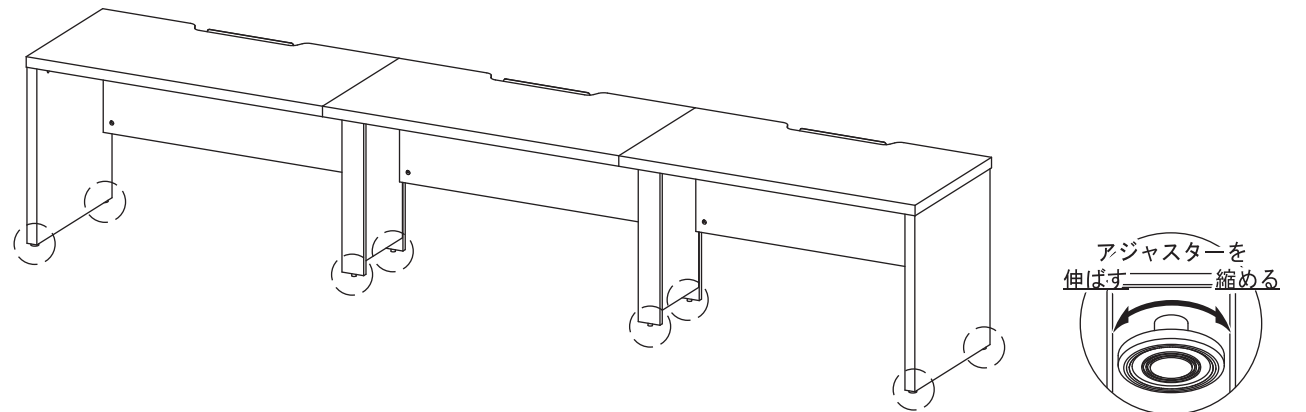
※ねじは定期的に
増し締めを行な
ってください。

- 13 ③左脚部・③右脚部と④共通天板に⑦L字金具を取り付けます。
①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



③右脚部側にも同じように
⑦L字金具を取り付けてください。

- 14 ④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく
締め付けられている事を確認し、天板1枚あたり2人以上で持ち、慎重に
ゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスター
を回して水平になるように調整し、
がたつかないようにしてください。

(3) 後日増連 後日 (1) 又は (2) に増連する場合

組立の目安
30分～

増連部材 の必要台数分を使用します。

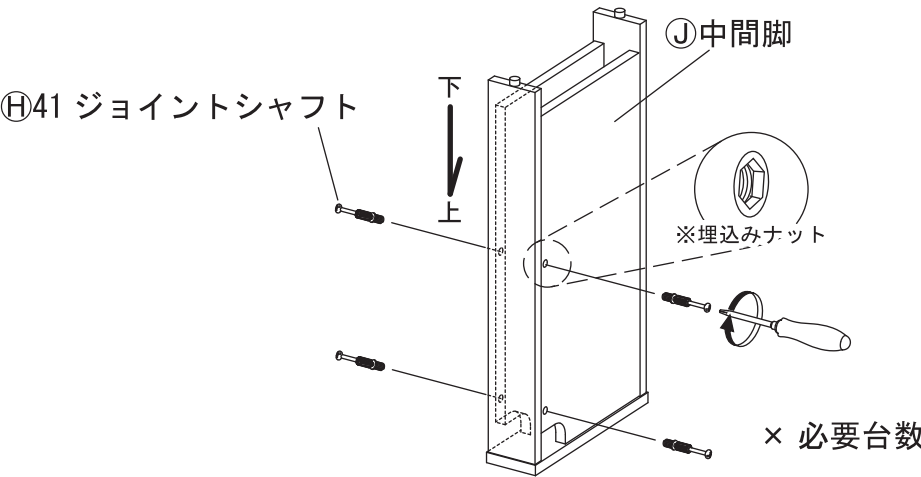


組立前の注意

設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

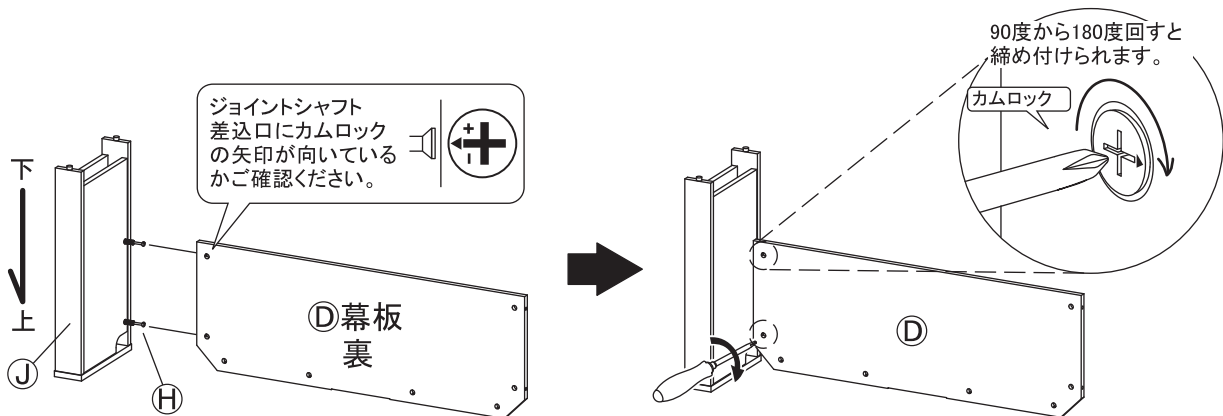
- ▲組立てにはプラスドライバーが必要です。
- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

- 1 ①中間脚にH41ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 2 1で組み付けた①中間脚のH41ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。
その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

この工程を増連台数分行ってください。

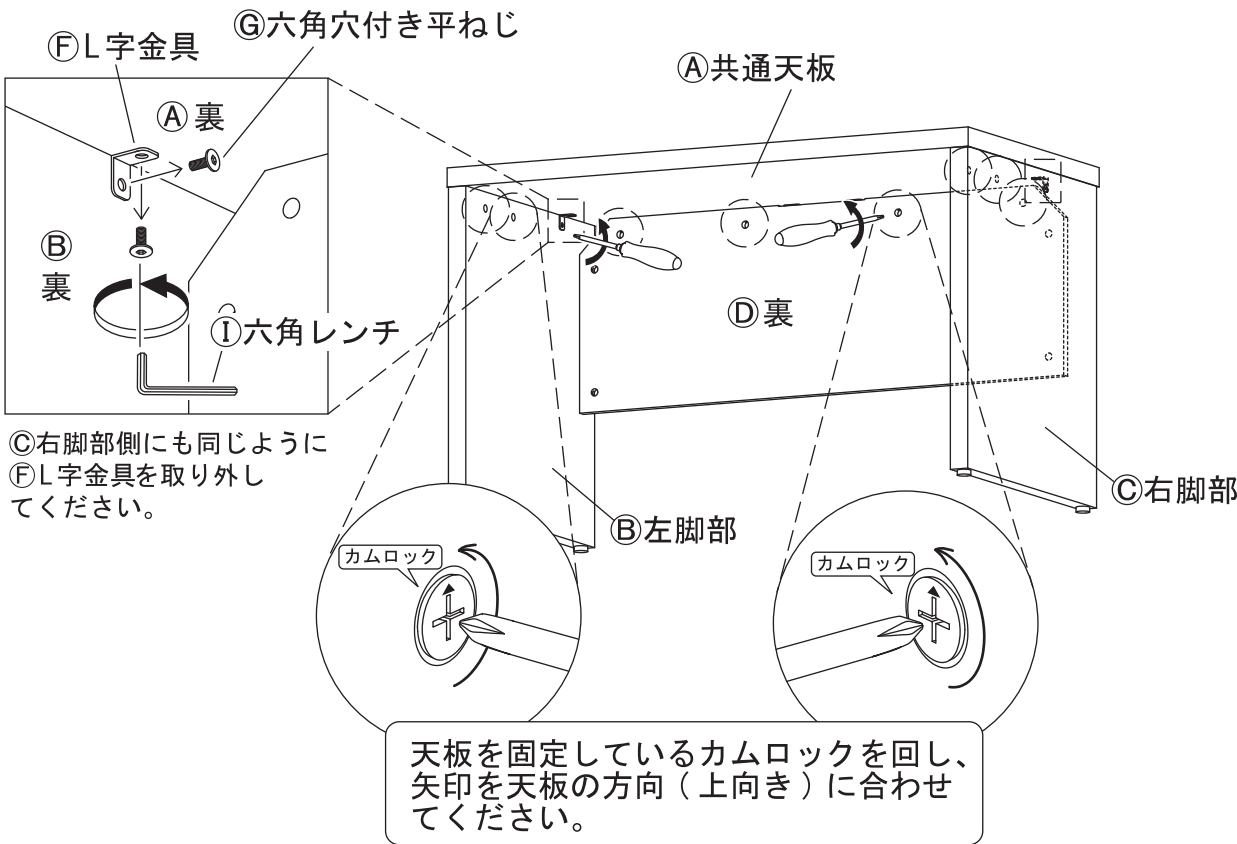


W1000 (W1200・W1400)の製品に増連する場合

※W2000 (W2400・W2800)以上の製品に増連する場合は17ページ13へお進みください。

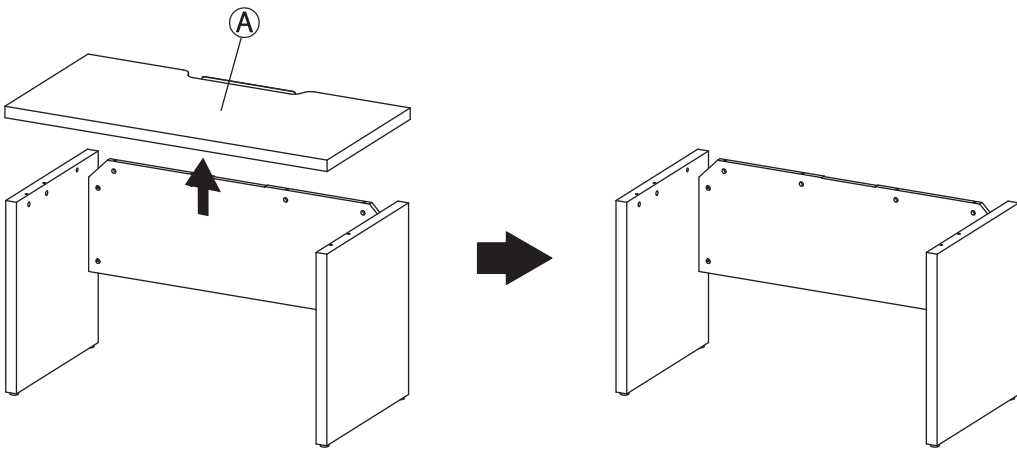
3

増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品の天板を取り外します。
④共通天板と⑤左脚部・⑥右脚部に取り付けられている⑦L字金具の⑧六角穴付き平ねじを、⑨六角レンチを使って取り外します。その後、④幕板・⑤左脚部・⑥右脚部と④共通天板を組み付けているカムロックを回して緩めてください。



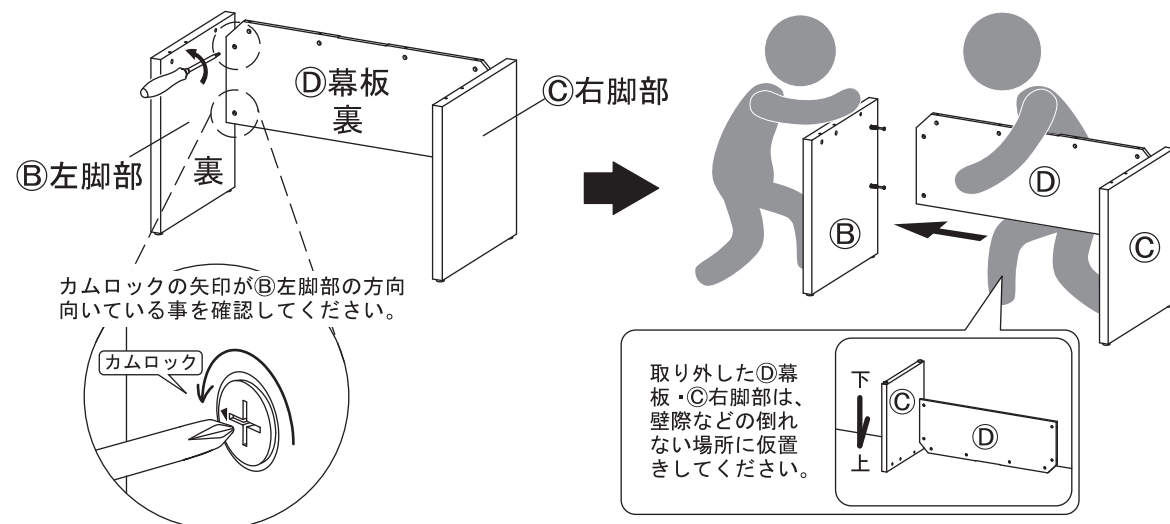
4

④共通天板を二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



5

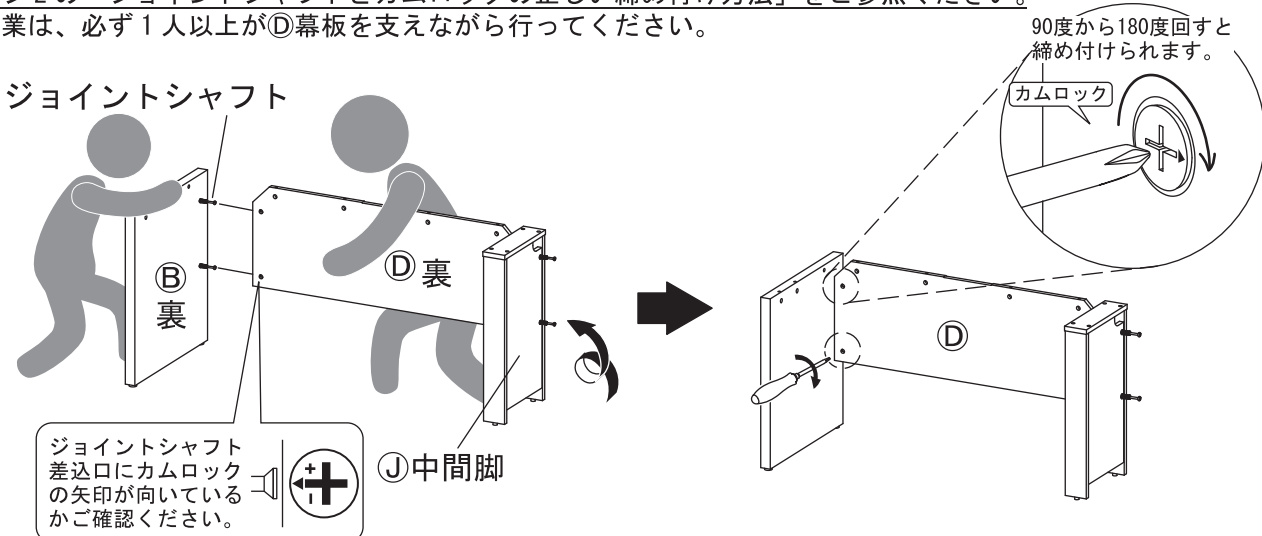
⑥左脚部を取り外します。④幕板に取り付けられている⑥左脚部側のカムロックを回して緩めてください。その後、④幕板・⑦右脚部を二人以上で慎重に取り外してください。この作業は、必ず1人以上が④幕板を支えながら行ってください。



6

⑤で取り外した⑥左脚部と②で組み立てた①中間脚・④幕板を組み立てます。①中間脚・④幕板を二人以上で慎重に起こし、⑥左脚部のH41ジョイントシャフトを、④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。この作業は、必ず1人以上が④幕板を支えながら行ってください。

H41 ジョイントシャフト

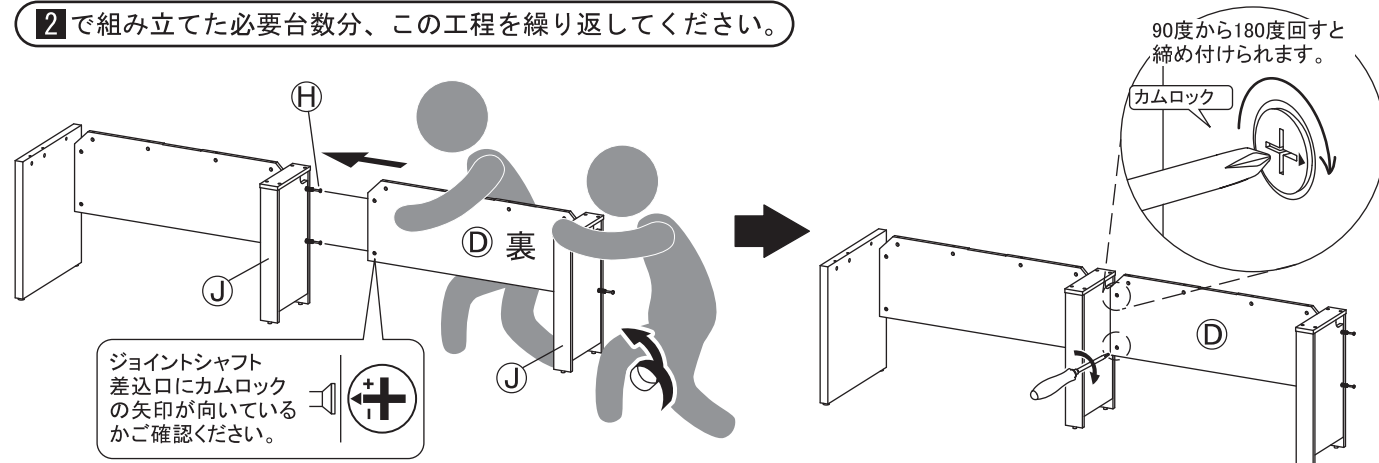


7

⑥と同様に、②で組み立てた①中間脚・④幕板を二人以上で慎重に起こし、⑥で組み立てた①中間脚のH41ジョイントシャフトを、④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。この作業は、必ず1人以上が④幕板を支えながら行ってください。

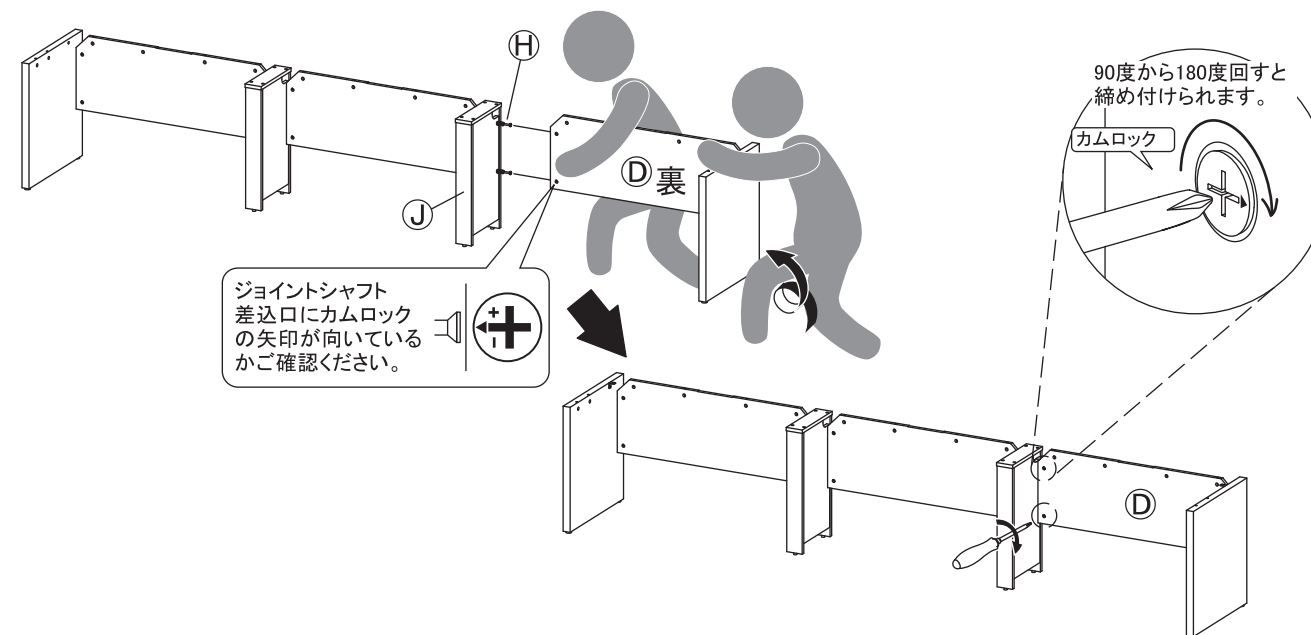
※W2000 (W2400・W2800) のサイズで組み立てる場合はこの工程は不要です。⑧の工程へお進みください。

②で組み立てた必要台数分、この工程を繰り返してください。



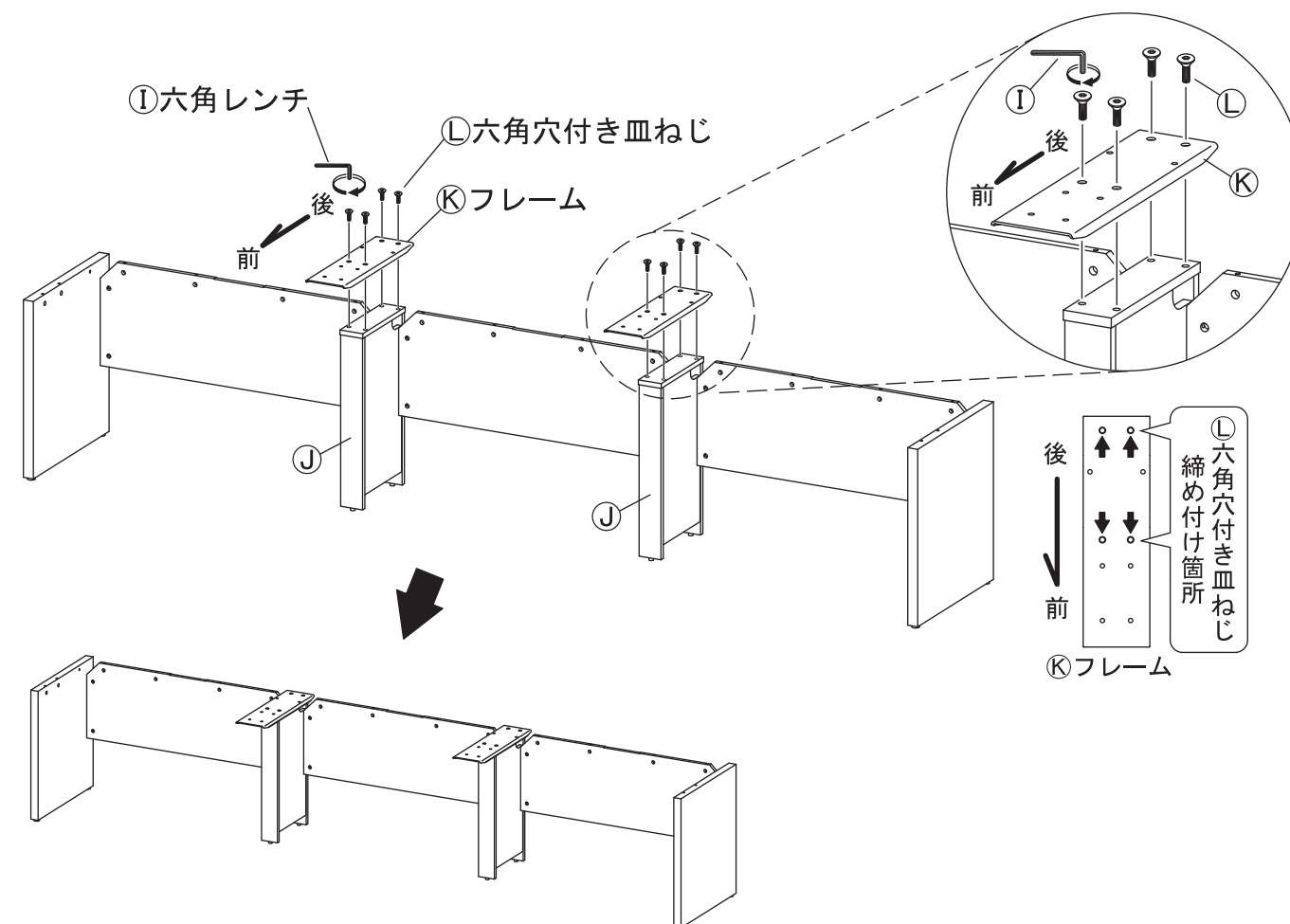
8

⑤で取り外した④幕板・⑦右脚部を二人以上で慎重に起こし、①中間脚のH41ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。この作業は、必ず1人以上が④幕板を支えながら行ってください。

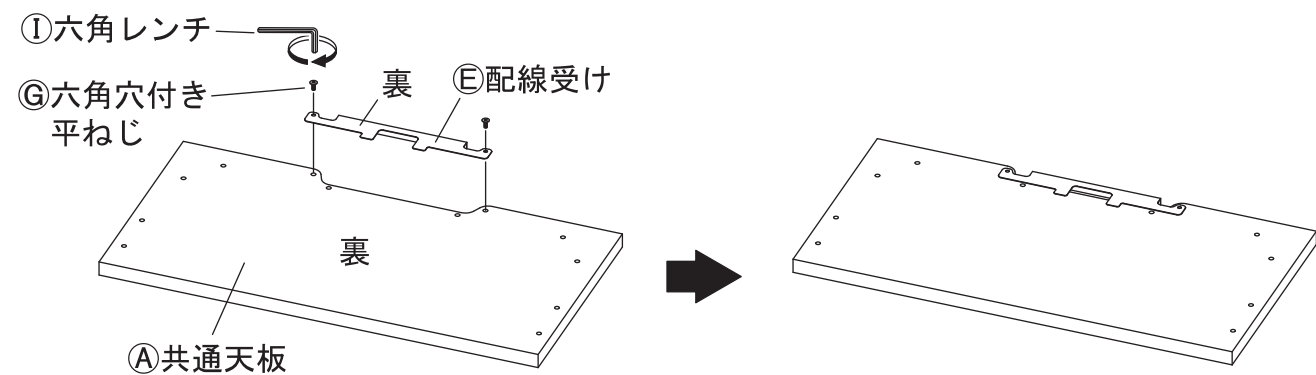


9

①中間脚の上に⑧フレームを二人以上で慎重に乗せ、①六角レンチを使って⑨六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。

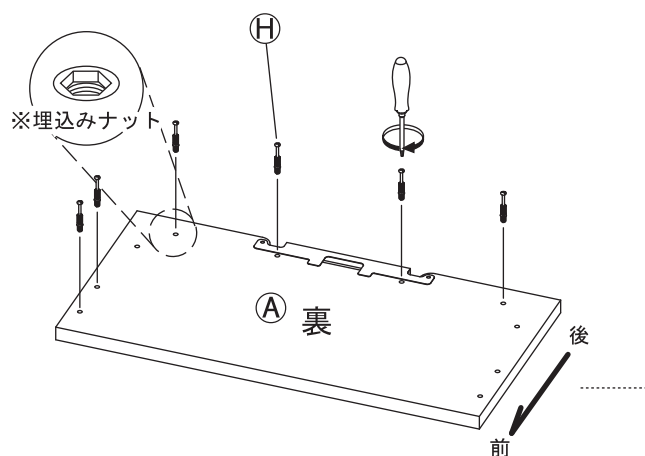
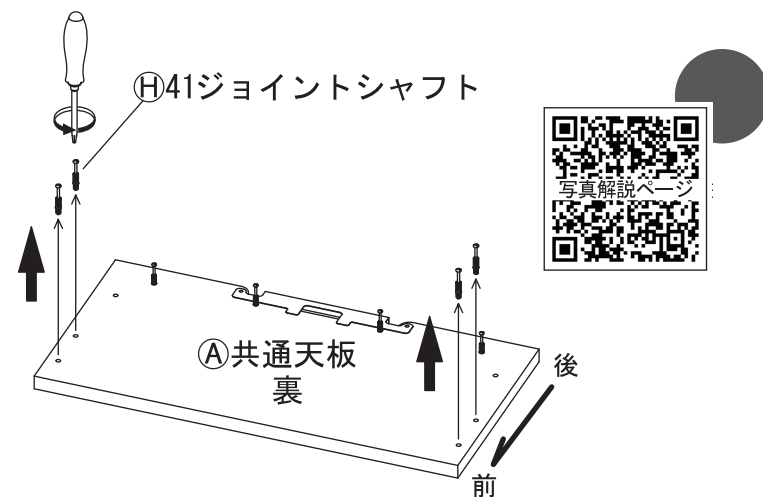


10 ④共通天板に⑤配線受けを取り付けます。
⑤配線受けを④共通天板に乗せ、①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



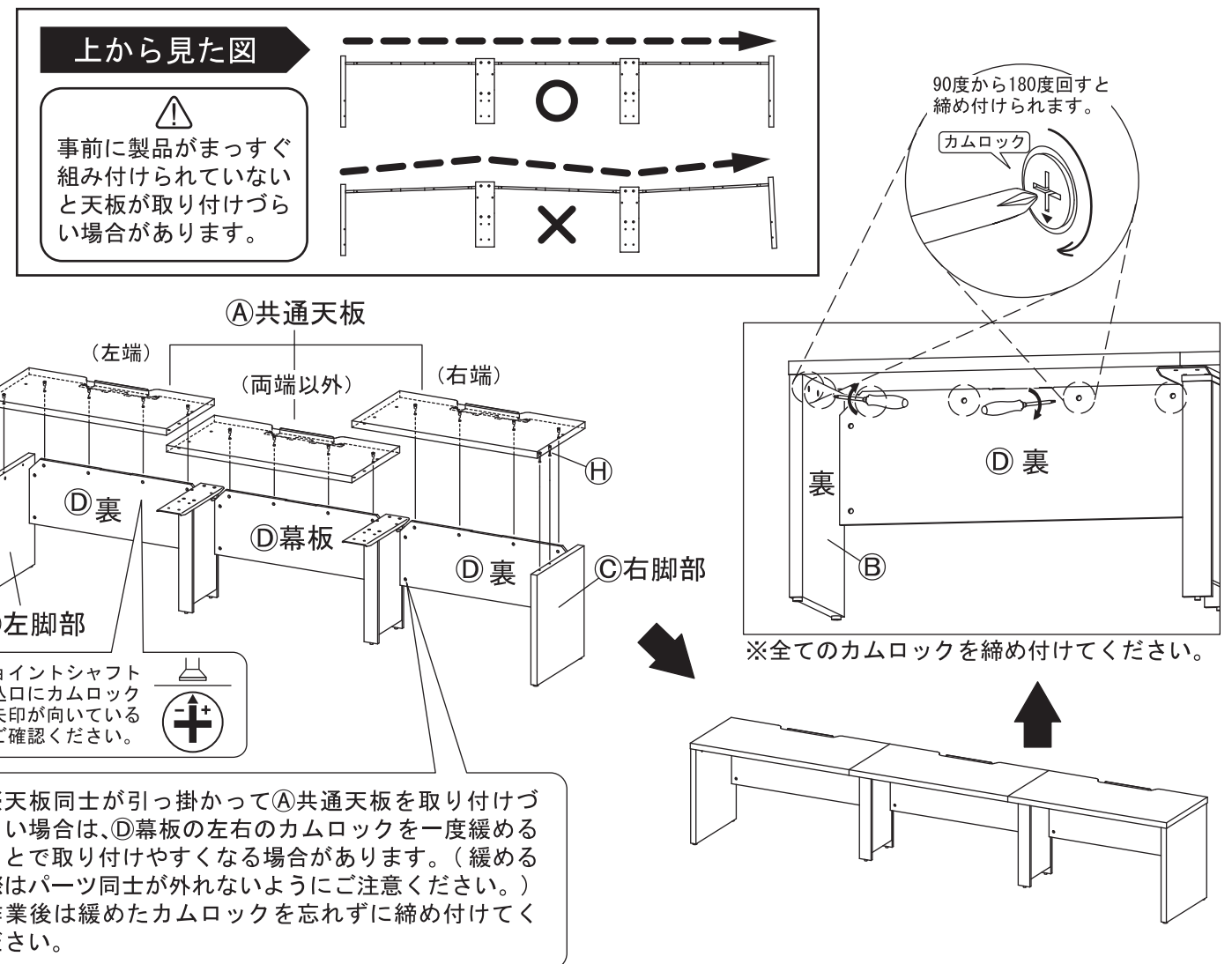
11 ④で取り外した④共通天板の④41ジョイントシャフトを取り外します。
その後、天板を取り付ける位置に応じてすべての④共通天板に④41ジョイントシャフトを回し入れてください。
天板により、④41ジョイントシャフトの取り付け位置が異なります。
下記の「天板への41ジョイントシャフト取り付け位置」をご確認ください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

④で取り外した④共通天板



天板への41ジョイントシャフト取り付け位置		
向かって右端 に取り付ける天板		× 1 枚
向かって左端 に取り付ける天板		× 1 枚
両端以外 に取り付ける天板		必要枚数 W2000(W2400・W2800)での組み立てには使用しません。

12 ⑨で組み付けた製品がまっすぐ組み付けられている事を確認してください。
その後、⑪で組み立てた④共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けた④41ジョイントシャフトを③左脚部・③右脚部・③幕板の横穴に差し込んでください。その後、③左脚部・③右脚部・③幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

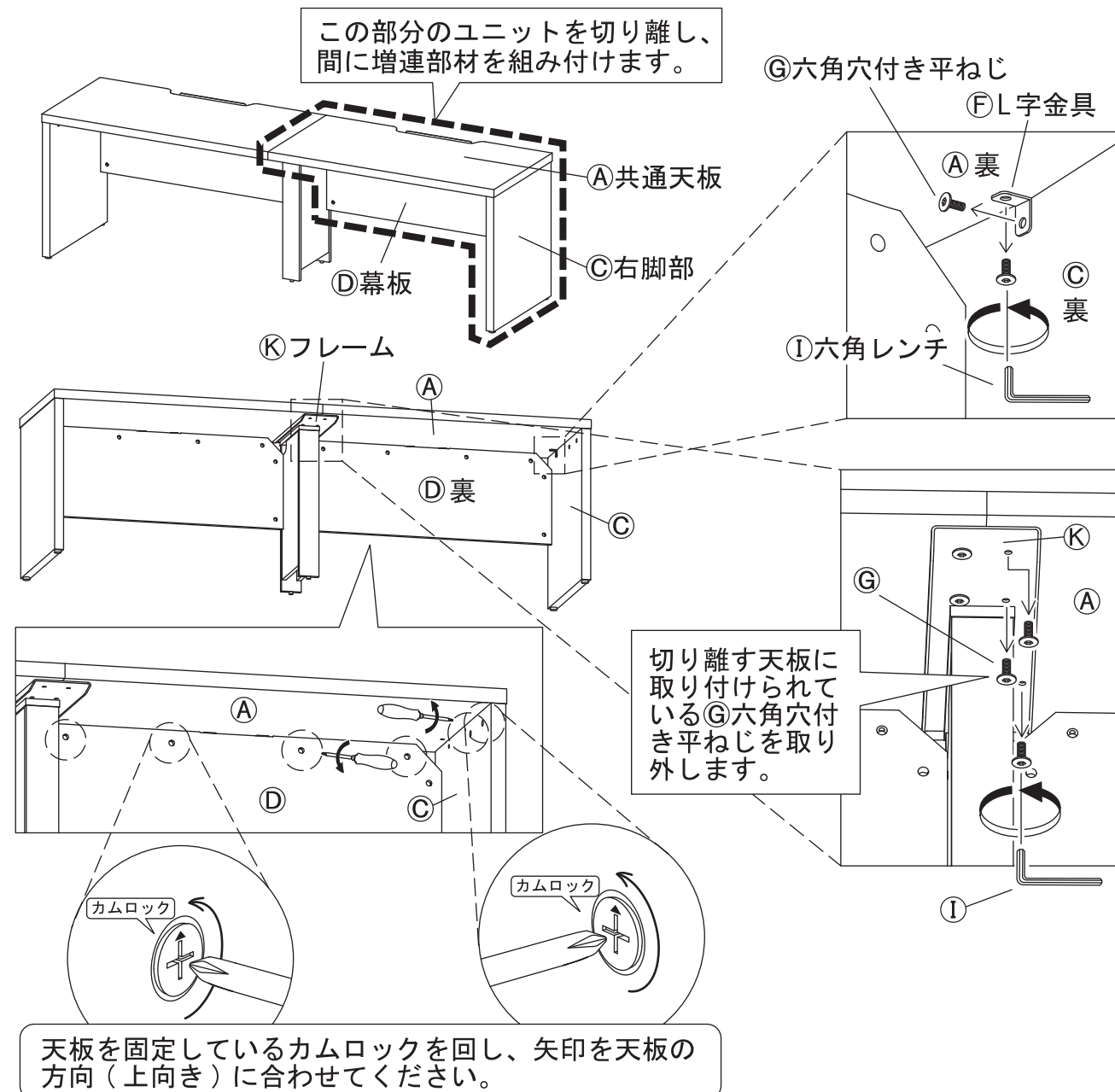


続きは21 ページ 22 の工程にお進みください。

W2000 (W2400・W2800) 以上の製品に増連する場合

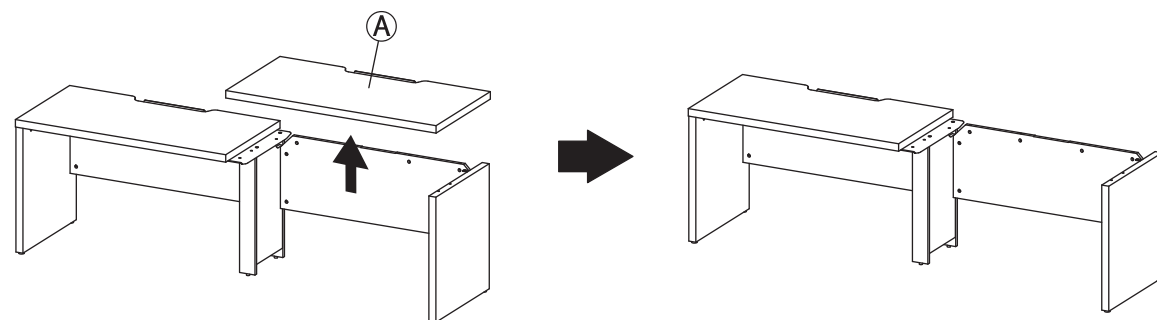
13

増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
 ①共通天板と②右脚部に取り付けられている③L字金具の④六角穴付き平ねじを、⑤六角レンチを使って取り外します。
 次に、⑥フレームに取り付けられている④六角穴付き平ねじを⑤六角レンチを使って取り外します。
 その後、⑦幕板・⑧右脚部に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。



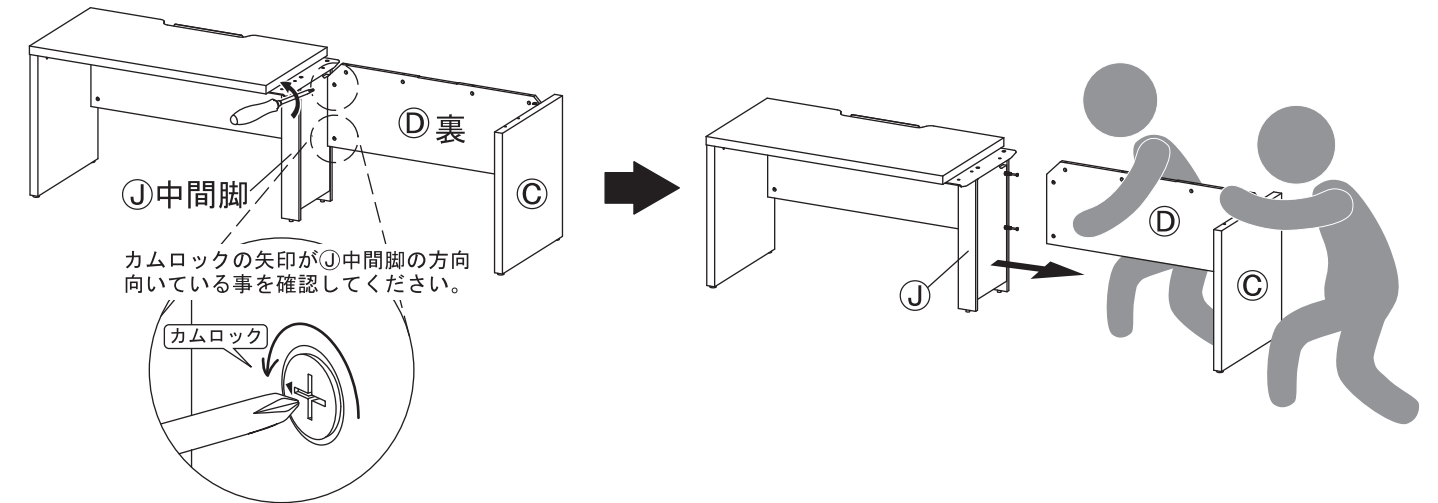
14

①共通天板を二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



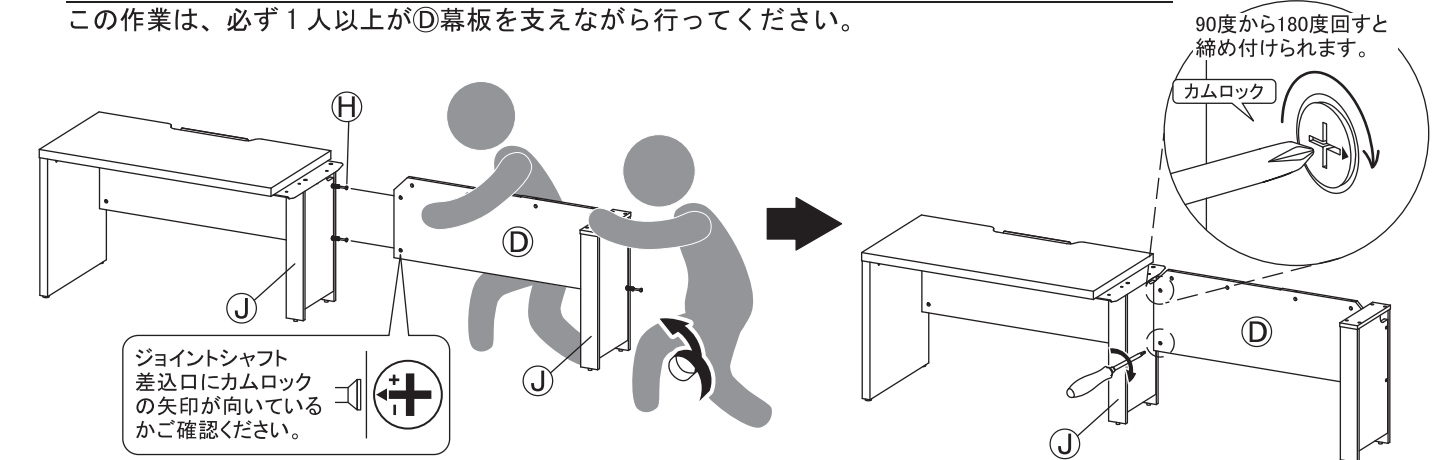
15

⑦幕板と⑧中間脚を組み付けているカムロックを回して緩めてください。
 その後、⑦幕板・⑧右脚部を二人以上で慎重に取り外してください。
 この作業は、必ず1人以上がそれぞれのパーツを支えながら行ってください。



16

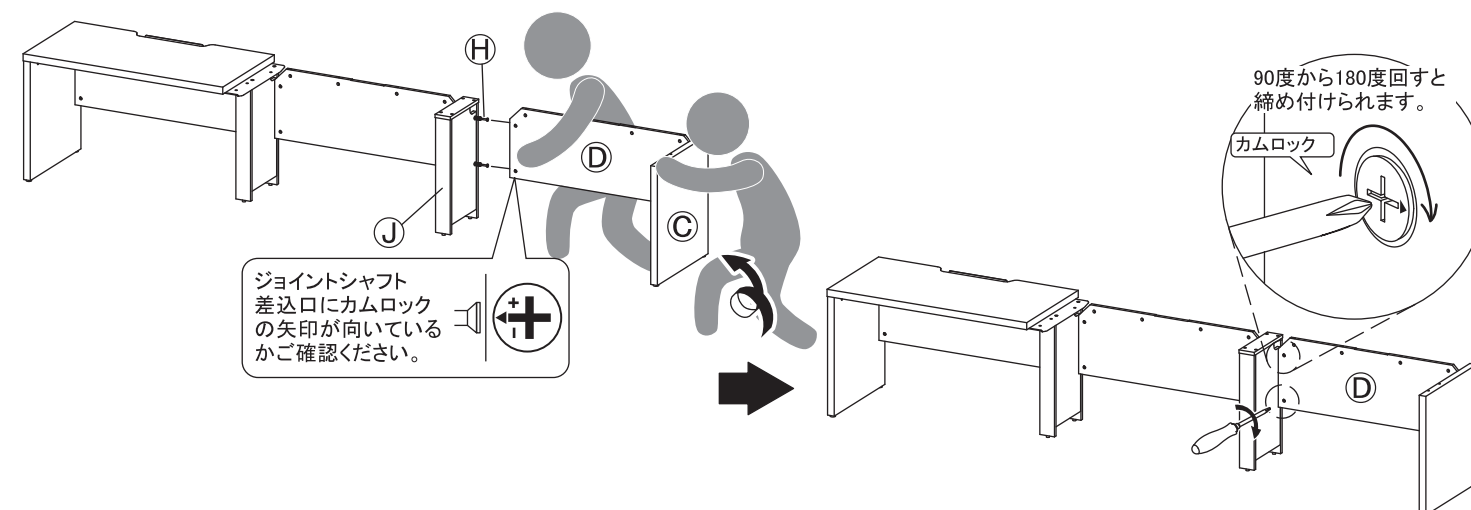
②で組み立てた⑧中間脚・⑦幕板を二人以上で慎重に起こし、⑤で切り離した⑧中間脚の⑨H41ジョイントシャフトを、⑦幕板の横穴に差し込みます。その後、⑦幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が⑦幕板を支えながら行ってください。

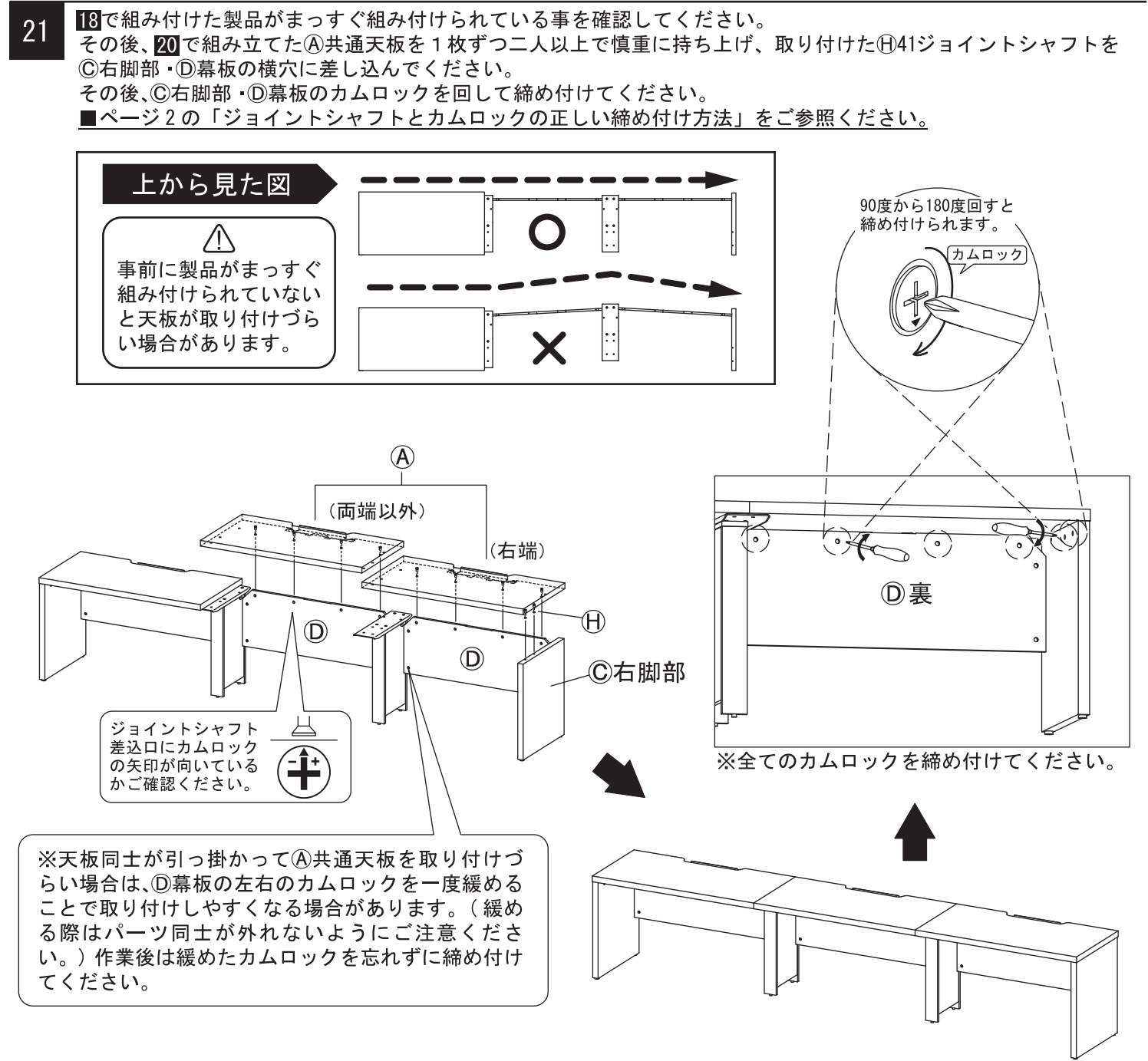
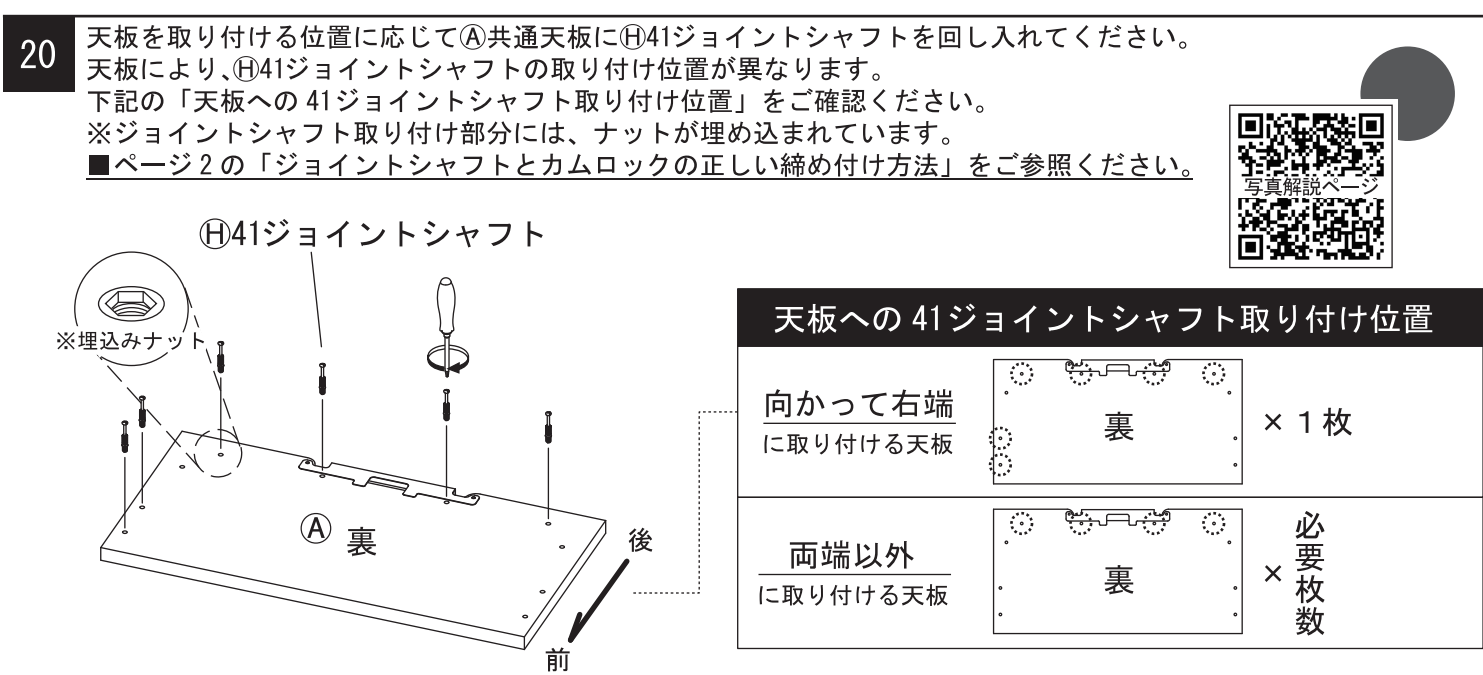
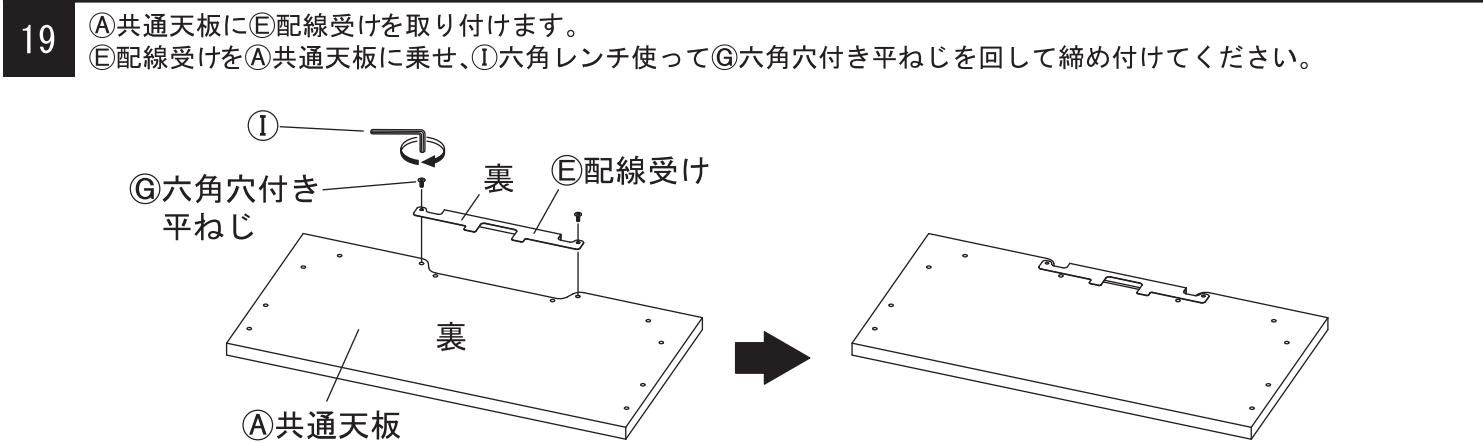
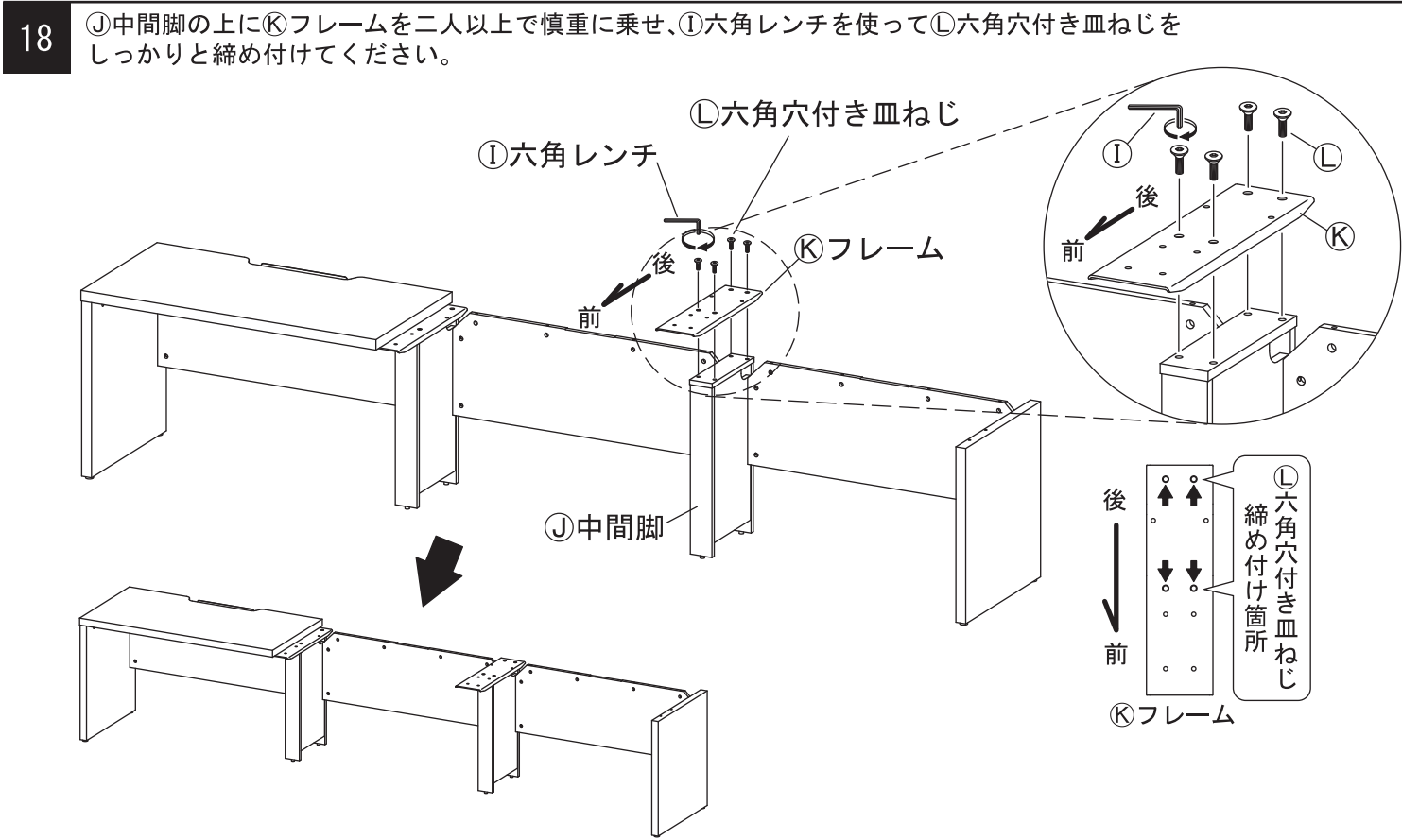


②で組み立てた必要台数分、この工程を繰り返してください。

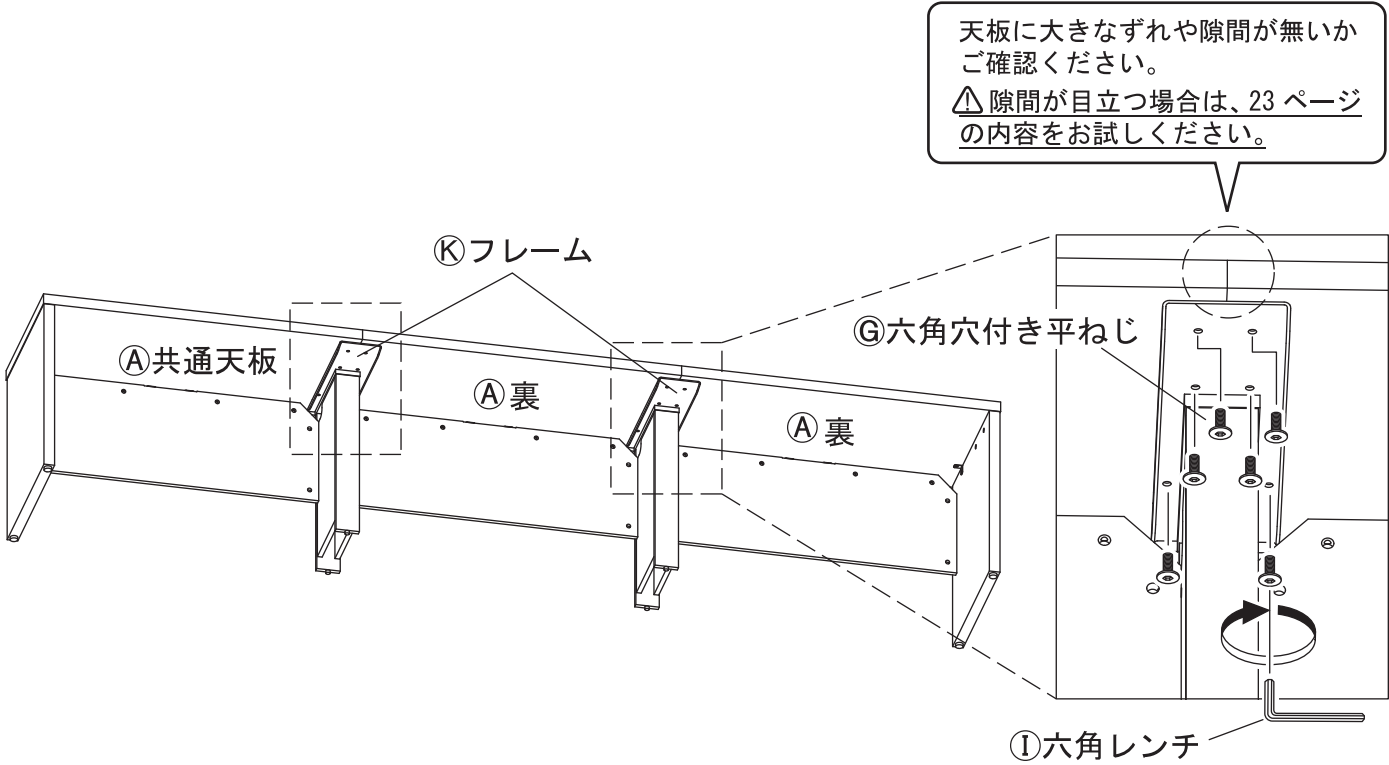
17

⑤で取り外した⑦幕板・⑧右脚部を二人以上で慎重に起こし、⑧中間脚の⑨H41ジョイントシャフトを⑦幕板の横穴に差し込みます。その後、⑦幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が⑦幕板を支えながら行ってください。





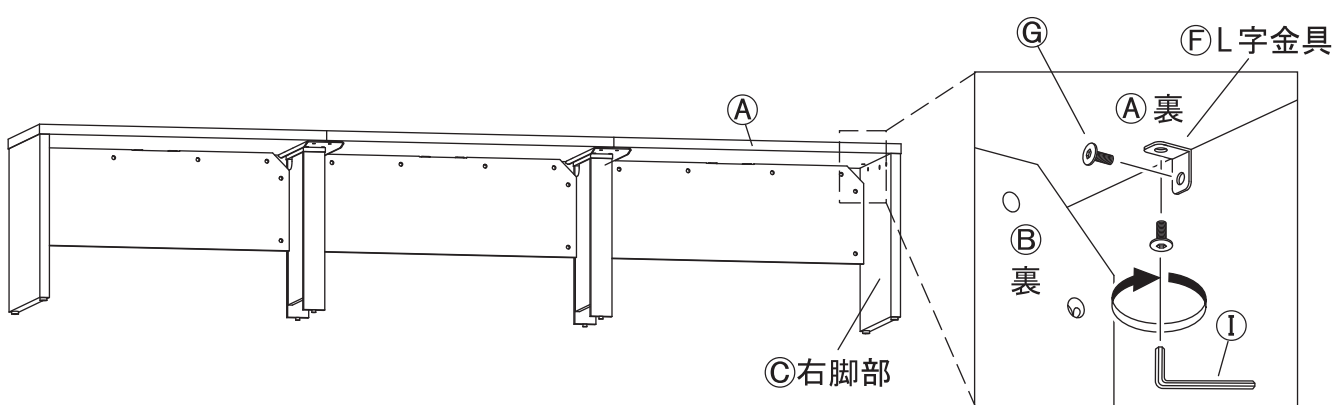
- ①共通天板と⑧フレームを固定します。
- ①共通天板の裏側から、①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを締め付けてください。



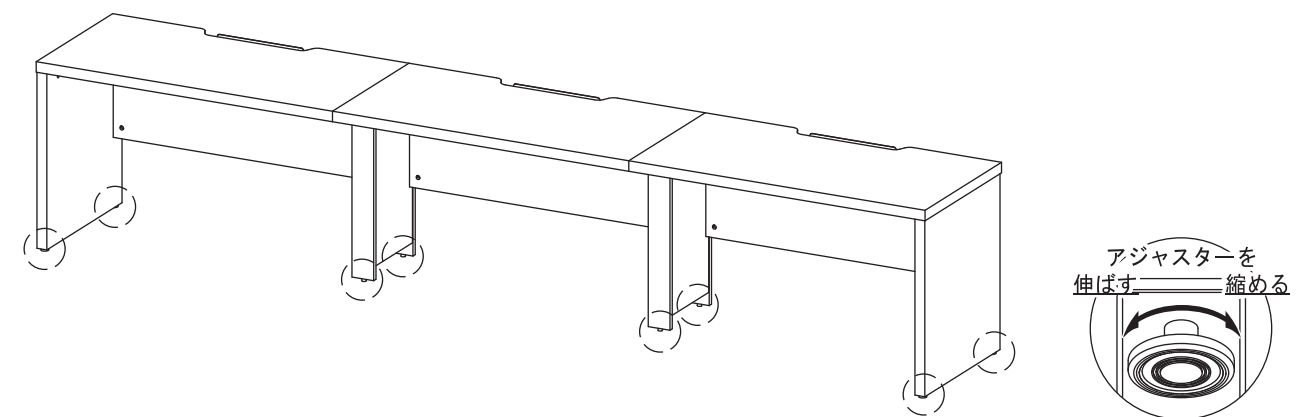
⚠ 部材を落としてケガをしないよう
十分注意してください。

※ねじは定期的に
増し締めを行っ
てください。

- ③右脚部と①共通天板に⑦L字金具を取り付けます。
- ①六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



- ①共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。

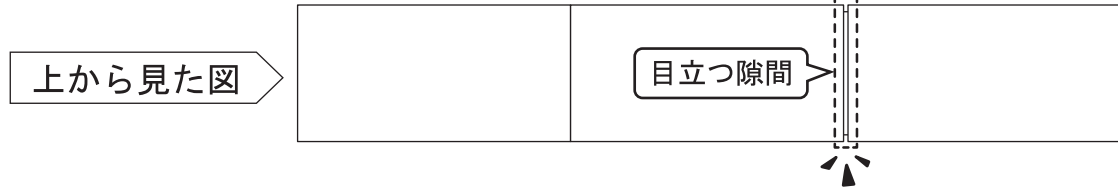


組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく
締め付けられている事を確認し、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重に
ゆっくりと移動させてください。

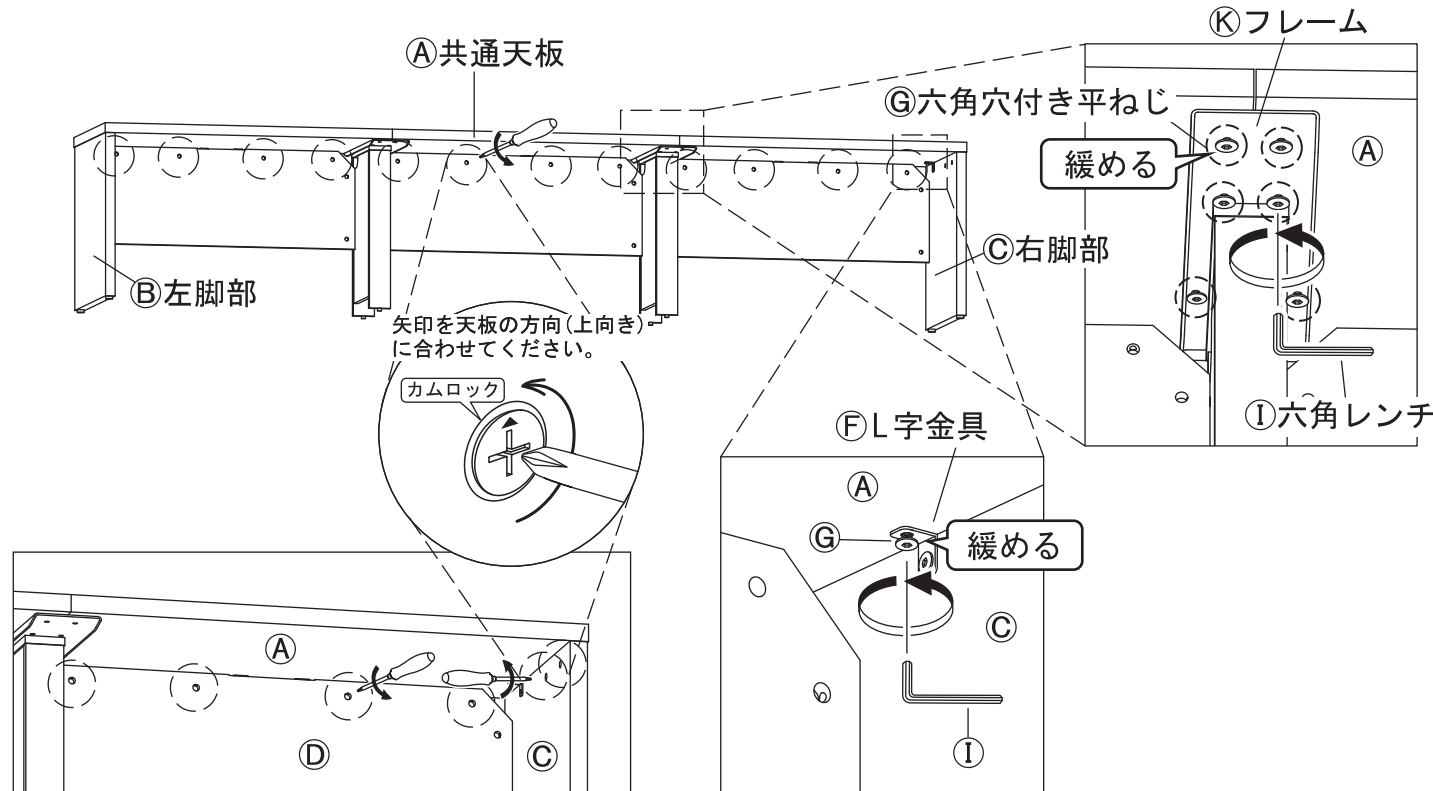
床に接地していないアジャスター
を回して水平になるように調整し、
がたつかないようにしてください。

⚠ 連結時、天板同士の隙間が目立つ場合にお試ください。

この作業は3人以上での作業を推奨しています。



- 1 ①六角レンチを使って⑧フレームに締め付けられている④六角穴付き平ねじを緩めてください。
その後、⑨共通天板と連結している⑩幕板・⑪⑫左右脚部のカムロックを回して緩めてください。
次に⑨共通天板に取り付けられている⑬L字金具の④六角穴付き平ねじを、①六角レンチを使って緩めてください。



- 2 天板の列の両端から、⑨共通天板の側面を内側へ押し込み、隙間が目立たなくなる事を確認してください。
その間に、もう一人が1で緩めた⑧フレームに取り付けられている④六角穴付き平ねじを全て締め付けます。
次に、1で緩めた⑩幕板・⑪⑫左右脚部の全てのカムロックを回して締め付けてください。
最後に、⑬L字金具の④六角穴付き平ねじをすべて締め付けてください。



⚠ 取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずにすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色・変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



＜品質表示＞

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
・基本			
RFTFH-(W, D) 1060 (10, 60) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1000	600	720
RFTFH-(W, D) 1070 (10, 70) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1000	700	720
RFTFH-(W, D) 1260 (12, 60) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1200	600	720
RFTFH-(W, D) 1270 (12, 70) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1200	700	720
RFTFH-(W, D) 1460 (14, 60) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1400	600	720
RFTFH-(W, D) 1470 (14, 70) WH (OA, BK) -T (CB, L)	1400	700	720
・増連 1台分			
RFTFH-(D) 1060 (60) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1000	600	720
RFTFH-(D) 1070 (70) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1000	700	720
RFTFH-(W, D) 1260 (12, 60) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1200	600	720
RFTFH-(D) 1270 (70) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1200	700	720
RFTFH-(D) 1460 (60) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1400	600	720
RFTFH-(W, D) 1470 (14, 70) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本 +1400	700	720

耐荷重 (均等荷重)
天板 1枚当たり 約 40kg

材質
甲板の表面材・脚部 合成樹脂化粧繊維板 (メラミン樹脂)
フレーム 金属 (鋼)

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208

⚠ 商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

✓ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- ☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- ☐ カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- ☐ 隙間やグラつきはないか
…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。
ねじにゆるみがないよう、定期的に増し締めしてください。
- ☐ 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使いいただくため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	ソリッド フリーアドレス用ハーフデスク
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	